9.1 コマンドについて

一 司資料

第

TA モードでご使用中の IPMATE1600RD への動作の指示や設定方法として、USB ポートに接続した パソコンの通信ソフトを使用して設定する「AT コマンド」をご利用いただけます。またアナログ ポートに接続した電話機から使用する「テレホン設定」があります。

9.1.1 コマンドリファレンス

「9.1.3 リファレンス一覧」の「AT コマンド」に記入されている項目を設定できます。

- ●印のついたコマンドは、AT&Wn コマンドでメモリに保存することができます。
- ☆印は、AT コマンドを入力した時点で、メモリに書き込まれます。
- 出荷時設定」印は、工場出荷時の値です。

● AT コマンド

AT コマンドは、"AT"で始まる文字列で表され、"AT"の後に続く文字列で、コマンドの機能を 認識します。

AT コマンドは、通信ソフトのコマンドライン上からキー入力します。

誤って入力した場合は、BS(バックスペース)キーで訂正ができます。ただし、"AT"の文字は 取り消すことができません。



CR:キャリッジリターン LF:ラインフィード(省略可)

\$1レジスタ

\$Iレジスタには、IPMATE1600RDの動作を規定する設定値を保存しておくことができます。 USBポートから設定を行なう場合は AT\$In=m で設定を行ないます。

- :設定を行ないたいレジスタの番号
- m : 設定する値

☆Pointシ

n

- 「AT」は、大文字と小文字の組み合わせ(At または aT)は使用できません。大文字または 小文字のみ(AT または at)を使用してください。また、「AT」は半角を使用してください。 (AT)のできません。
- AT コマンド列中のブランク文字(スペース)は使用できません。

9.1.2 アナログポートからの設定と確認

アナログポートの TEL1 ポートに接続した電話機からトーン信号(プッシュボタン式電話のピポ パ音)によって設定を行なうことができます。

「9.1.3 リファレンス一覧」の「テレホン設定」に記入されている項目を設定できます。

≪テレホン設定の手順≫

TEL1 ポートに接続した電話機の受話器を上げた後、フッキングして、 ダイヤルトーンが短いツーツー音に変わることを確認します。

2 この状態で次のコマンドモードを選択します。

「*1」アナログ機能設定

「*5」着信制御設定

• 操作例

TEL1 ポートの内線呼び出し音をリーン・リーンに変更する場合

★15810 とプッシュします。「9.1.3 リファレンス一覧」(p.9-4)

日 アナログ設定の TEL コマンドをプッシュすることにより設定を行なう ことができます。

- 正しいコマンド番号を入力した場合は「ピピッ」という音が受話器から流れますの で、次の設定コマンド番号に進みます。
- コマンド番号が間違っていたり、正しく受取れなかった場合は「ブー」という音が受 話器から流れますので、もう一度正しく入力し直してください。
- 1項目分の入力が終わると「ピピピピッ」という音が受話器から流れ、
 設定完了を知らせます。

≪テレホン設定の確認手順≫

TEL1 ポートに接続した電話機の受話器を上げて、フッキングし、ダイ ヤルトーンが短いツーツー音に変わることを確認します。

2 この状態で次のコマンドモードを選択します。

「*2」アナログ機能設定

「*6」着信制御設定

操作例

TEL1 ポートの内線呼び出し音設定を確認する場合 🗶 2581 とプッシュします。「9.1.3 リファレンス一覧」(p.9-4)

E アナログ設定コマンド番号をプッシュすることにより確認を行なう設定項目を指定することができます。

- 正しいコマンド番号を入力した場合は「ピピッ」という音が受話器から流れますの で、次の設定コマンド番号に進みます。
- コマンド番号が間違っていたり、正しく受取れなかった場合は「ブー」という音が受 話器から流れますので、もう一度正しく入力し直してください。

1項目分の入力が終わると、指定した設定内容が受話器より音声アナウンスで流れます。

☆Point'

- アナログポートに接続した電話機からの設定および確認は TEL1 ポートのみ有効です。 TEL2 ポートからは実行できません。
- アナログポートでの通話中や外線保留中、USB ポートによる通信中は TEL1 ポートからの 設定および確認は行なえません。
- アナログポートからの設定入力の間隔が 20 秒以上空くと、設定モードは中断され、それ までの入力は無効となります。

第9章

<u>9.1.3 リファレンス一覧</u>

コマンドリファレンスの一覧表を以下に示します。

● AT コマンド / テレホン設定一覧

(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
	+++		エスケープモードへ移行 (このコマンドには"AT" および"リターン"を付 加しません)		
	Α/		直前のコマンドを繰り返 す (このコマンドには"AT" および"リターン"を付 加しません)		
	A		手動で着信 相手と接続されるとリザ ルトコードを返します		
	Dxxx		ダイヤル発信します	xxx=0~9 * L	相手先のダイヤル番号 サブアドレス番号は* の後に入力します 最後にダイヤルした番 号に再ダイヤルする (リダイヤル)
	En E?		エコーバックの有無の指 定 エコーバックの有無の表 示	n=0 出荷時設定) 1	エコーバックしない エコーバックする
	Н		回線の切断		
	I		製品コードの表示		
	0		オンラインモードへ復帰		
•	Qn O2		リザルトコードの有無の 指定	出荷時設定) n=0 1	リザルトコードあり リザルトコードなし
	\ ب		ッッルトコートの有無の 表示		

(注) ●印のついたコマンドは AT&Wn コマンドでメモリに保存することができます。
 ☆印は AT コマンドを入力した時点でメモリに書込まれます。

(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
	Vn		リザルトコードの形式の	n=0	数字で表示
			指定	出荷時設定 1	文字で表示
	V?		リザルトコードの形式の 表示		
	Xn		リザルトコードの表記内	n=0	基本リザルトコード
			容の形式指定	1	拡張リザルトコード 1
				2	拡張リザルトコード 2
				3	拡張リザルトコード 3
				出荷時設定 4	拡張リザルトコード 4
				5	拡張リザルトコード 5
	X?		リザルトコードの表記内 容の形式表示		
	Zn		現在設定値の初期化	n=0	メモリ0の内容に初期
				1	メモリ1の内容に初期 化
	&Bn		BACP/BAP 使用・不使用	n=0	BACP/BAP を使用しな
			の設定		()
				出荷時設定 1	BACP/BAP を使用する
	&B?		BOD モードの設定値の 表示		
	&Cn		CD 信号制御の設定	n=0	CD を常時 ON
				出荷時設定 1	回線接続中は ON
	&C?		CD 信号制御の設定値の 表示		
	&Dn		ER 信号制御の設定	n=0	ER を無視
				1	エスケープモードへ移
					行
				出荷時設定) 2	回線を切断
				3	回線を切断し、初期化
	&D?		ER 信号制御の設定値の 表示		
	&En		リザルトコードの速度表	出荷時設定) n=0	回線速度を表示
			示の選択	1	端末速度を表示
	&E?		リザルトコードの速度表 示の設定値の表示		
	&F		S レジスタの内容を工場		
			出荷時に戻します		

(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
•	&Kn		IPMATE1600RD- パソコ ン端末間のフロー制御の 設定	n=0 出荷時設定) 3	フロー制御なし RTS/CTS ハードフ ロー制御
				4	Xon/Xoff ソフトフロー 制御
	&K?		フロー制御の設定値の表 示		
•	&Pn		PIAFS 発信時の通信速度	出荷時設定) n=0 1	32k で発信 64k(2.0)で発信
	&P?		PIAFS 発信時の通信速度 の表示	2	64k(2.1)で発信
•	&Qn		発信時の通信モードの設 定	n=0 出荷時設定)1 2 3	非同期モードで発信 同期モードで発信 128k マルチリンク PPP モードで発信 PIAFS モードで発信
	&Q?		発信、着信モードの設定 値の表示		
•	&Sn		DR(DSR)信号制御の 設定	出荷時設定) n=0 1	常時 ON 回線接続中は ON
	&S?		DR(DSR)信号制御の 設定値の表示		
	&Tn		テスト動作の実行	n=0 1 2	自己機能テスト ラインテスト メモリテスト
	&V		全 S レジスタの内容の表 示		
	&Wn		現在設定値のメモリへの 保存	n=0 1	メモリ 0 へ保存 メモリ 1 へ保存
☆	&Yn		電源投入時、リセット時 に使用メモリの選択	<u>出荷時設定</u>) n=0 1	メモリ 0 を使用 メモリ 1 を使用
	&Y?		メモリ選択の表示		
	¥R		最終着信発番号表示		(最後に着信した電話 番号を表示します)

(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
	¥Sn		現在の設定状態の表示	n=1	ポート毎に設定された 番号登録(*サブアド レス)、着信転送の値 を表示、グローバル着 信規制、アナログポー ト(音声/3.1kHz モー ド)、キャッチホン、 サブアドレシスなし着 信、着信制御リストを 表示、発信者番号、内 線呼出音、i・ナンバー 着信ポートの設定を表 示
				8	着信制御リスト 00 ~ 09 の設定を表示
				9	着信制御リスト 10 ~ 19 の設定を表示
•	%An		BOD によるチャネル追 加の有無と評価方法	n=0	送信 / 受信のどちらか がしきい値以上になっ た場合に追加
				1	送信データ量がしきい 値以上になった場合に 追加
				2	受信データ量がしきい 値以上になった場合に 追加
				出荷時設定 3	チャネルの追加を行な わない
	%A?		チャネル追加の有無と評 価方向設定値の表示		
	%Cn		128K マルチリンク PPP 時の初期接続チャネル数	出荷時設定) n=0 1	2チャネル 1チャネル
	%C?		初期接続チャネル数の表示		1 J Y 1770

(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
•	%Dn		BOD によるチャネル削 除の有無と評価方法	n=0	送信 / 受信のどちらか がしきい値未満になっ た場合に削除
				1	送信データ量がしきい 値未満になった場合に 削除
				2	受信データ量がしきい 値未満になった場合に 削除
				出荷時設定」3	チャネルの削除を行な わない
	%D?		チャネル削除の有無と評 価方向設定値の表示		
	%In		ROM(ファームウェア) 情報の表示	n=0	ROM のチェックサム を表示
				1	ROM のチェックサム を計算し、結果を OK か ERROR で表示
				2	ROM のバージョンを 表示
	%Mn		MAC アドレスの表示	n=1	MAC アドレス 1 の表 示
				2	MAC アドレス 2 の表 示
				3	MAC アドレス 3 の表 示
•	%Tn		スループット BOD の無 効 / 有効	出荷時設定) n=0 1	無効 有効
	%T?		スループット BOD の無 効 / 有効の表示		
•	%Un		リソース BOD の使用	n=0 1	割当てを行なわない 発信時のみ割り当てる
				2	着信時のみ割り当てる
				山田時設定 3	光信時、看信時とも割 り当てる
	%U?		リソース BOD の設定値 の表示		

(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
☆	%Wn		動作モード	n=0 思想時記会) 1	TA モード ダイセルマップルーク
					マイヤルアッフルータ モード
				2	ブロードバンドルータ モード
	%W?		動作モードの表示		
	%Z		スーパーリセットの実行		AT コマンドで設定可能 な項目を工場出荷時設
					定に戻します。
☆	\$Bn=m	* 1-41- n-m	発信者番号通知指定	n=1 2	TEL1 ポート TEL2 ポート
				5	USB ポート
				m=0	LAN ホート 通知しない
				1	契約者回線番号を通知
					(INS ネット 64 より通 知)
				2	設定値を通知(自己ア
					トレス + 自己サノアト レス)
				出荷時設定 3	INS ネット 64 申込内 ぬに従う
	\$Bn?	* 2-41-n	 発信者番号通知設定値の		谷に促り
			表示		
☆	\$Cn=xxx	* 1-11-n-	自己アドレスの設定	n=1	TEL1 ポート TEL 2 ポート
				5	USB ポート
				6	LAN ポート 却約本回線番日本たは
				$xxx=0 \sim 9$	^{実利有凹标留} ちよには ダイヤルイン番号
				*	 サブアドレスは*の後
	¢00				に入力
	βCΠ?	* 2-11-n	目己/ドレスの設定番号 の表示		

☆ \$Dn=m * 1-43- n-m 番号(情報)通知の設定 n=1 n=2 TEL1 ボート TEL2 ボート (国正王) m=0 使用しない 1 ナンバー・ディス イを使用する 2 メッセージ到着約 世機能を使用する 3 ナンバー・ディス イ + メッセージ到着約 2 メッセージ割着約 3 ナンバー・ディス イ + メッセージ到 知らせ機能を使用 4 無鳴動ファクスを する ★ \$Fn=m * 1-21- n-m 着信転送の設定 0表示 n=1 * 第Fn=m * 1-21- n-m 着信転送の設定 ○ n=1 * 第Fn=m * 1-21- n-m 着信転送の設定 第 1 <	(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
\$Dn? * 2-43-n 番号(情報)通知設定値 の表示 n=1 TEL1 ポート ☆ \$Fn=m * 1-21- n-m 着信転送の設定 n=1 TEL1 ポート n-m 着信転送の設定 n=1 TEL1 ポート TEL2 ポート SFn? * 2-21-n 着信転送の設定値の表示 1 着信転送しない ★ \$Gn=xxx * 1-22-n- xxx# 着信転送 n=1 TEL1 ポート ★ \$Gn=xxx * 1-22-n- xxx# 着信転送先の設定 n=1 TEL1 ポート 5 USB ポート LAN ポート USB ポート LAN ポート ★ \$Gn? * 2-22-n 転送先番号の表示 1 TEL1 ポート ★ SHn=m * 1-23- n-m 着信転送 n=1 TEL1 ポート ★ \$Hn=m * 1-23- n-m 着信転送 n=1 TEL1 ポート ★ \$Hn=m * 1-23- n-m 着信転送 n=1 TEL1 ポート ★ \$Hn=m * 1-23- n-m 着信転送 n=1 TEL1 ポート ★ * 1-23- n-+ 本の 「転送ト=+本のし/ 元ト=+ 本のし/ 元ト=+ 本の/ 1 転送ト=+ 本の/ 元ト=+ 本の/ 1 <th>*</th> <td>\$Dn=m</td> <td>* 1-43- n-m</td> <td>番号(情報)通知の設定</td> <td>n=1 n=2 世奇時設定 m=0 1 2 3</td> <td>TEL1 ポート TEL2 ポート 使用しない ナンバー・ディスプレ イを使用する メッセージ到着お知ら せ機能を使用する ナンバー・ディスプレ イ・メッセージ到着お 知らせ機能を使用する 無鳴動ファクスを使用 する</td>	*	\$Dn=m	* 1-43- n-m	番号(情報)通知の設定	n=1 n=2 世奇時設定 m=0 1 2 3	TEL1 ポート TEL2 ポート 使用しない ナンバー・ディスプレ イを使用する メッセージ到着お知ら せ機能を使用する ナンバー・ディスプレ イ・メッセージ到着お 知らせ機能を使用する 無鳴動ファクスを使用 する
☆ \$Fn=m * 1-21- n-m 着信転送の設定 n=1 2 TEL1 ポート n-m 第 1 1 TEL2 ポート 1 1 1 1 1 * * * 2-21-n 1 1 * * * 1-2 1 1 * * * 1-2 1 1 * * * 1-2 1 1 * * * 1-2 1 1 * * * 1-2 1 1 * * * 1-2 1 1 * * * 1-2 1 1 * * * 1-2 1 1 * * * 1-2 1 1 * * * 1-2 1 1 * * * 1-2 1 1 * * * 1 * 1 * * * 1 * 1 * * * 1 * 1 * * * * 1 *		\$Dn?	* 2-43-n	番号(情報)通知設定値 の表示		
	*	\$Fn=m	* 1-21- n-m	着信転送の設定	n=1 2 5 6 凹荷時設定 m=0 1	TEL1 ポート TEL2 ポート USB ポート LAN ポート 着信転送しない 着信転送する
☆ \$Gn=xxx * 1-22-n- xxx-# 着信転送 n=1 TEL1 ポート ★ 第信転送先の設定 2 TEL2 ポート 5 USB ポート LAN ポート xxx=0~9 登録する着信転送 * 第日=m * 1-22-n 転送先番号の表示 * * 第Hn=m * 1-23- n-m 市-m 着信転送 市送トーキ/転送元トー キの設定 * 1 TEL1 ポート * 1 * <t< th=""><th></th><td>\$Fn?</td><td>* 2-21-n</td><td>着信転送の設定値の表示</td><td></td><td></td></t<>		\$Fn?	* 2-21-n	着信転送の設定値の表示		
◆ SHn=m * 1-23- n-m 着信転送 転送トーキ/転送元トー n=1 2 TEL1 ポート TEL2 ポート ● MBBE2 m=0 転送トーキ/転送元トー キの設定 1 転送トーキなし/車 元トーキなし 1 転送トーキホし/車 元トーキなし 1 転送トーキなし/車 元トーキなし 2 転送トーキなし/車 元トーキなし 1 転送トーキなし/車 元トーキあり/車 元トーキなし	*	\$Gn=xxx	* 1-22-n- xxx-#	着信転送先の設定	n=1 2 5 6 xxx=0 ~ 9 #	TEL1 ポート TEL2 ポート USB ポート LAN ポート 登録する着信転送先の 電話番号(テレホン設 定時は電話番号の後に #をプッシュします)
* 1-11 * 1-23- n-m 看信転送 転送トーキ/転送元トー 1 TEL2 ポート *の設定 2 TEL2 ポート *の設定 1 転送トーキなし/車 元トーキなし 1 転送トーキホし/車 元トーキあり 2 転送トーキなし/車 元トーキあり 2 転送トーキホし/車 元トーキホし 3 転送トーキあり/車 元トーキホリ	•	\$Gn? ¢⊔n=m	* 2-22-n	転送先番号の表示	n-1	
\$Hn? * 2.23 n トーキの設定まテー		\$Hn?	× 2.22 ∽	有信転达 転送トーキ / 転送元トー キの設定	11=1 2 型荷時設定) m=0 1 2 3	TEL1 小一 F TEL2 ポート 転送トーキなし/転送 元トーキなし/転送 元トーキあり/転送 元トーキあり/転送 元トーキあり/転送 元トーキあり/転送 元トーキあり/転送

(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
☆	\$Kn=m	* 1-24- n-m	キャッチホンの設定	n=1 2 出荷時設定) m=0	TEL1 ポート TEL2 ポート キャッチホンを利用し ない
				1	INS・キャッチホンを 利用する 疑似キャッチホンを利
	\$Kn?	* 2-24-n	キャッチホンの設定値の 表示		用する
☆	\$Ln=m	* 1-51- n-m	アナログポートのモード 設定	n=1 2 出荷時設定) m=0 1	TEL1 ポート TEL2 ポート 音声モードに設定 3.1kHz オーディオモー
	\$Ln?	* 2-51-n	アナログポートの音声 / 3.1KHz オーディオモー ドの設定値		ドに設定
*	\$Mn=m	* 1-31- n-m	サブアドレスでのグロー バル着信の設定	n=1 2 5 6 m=0 出商時設定 1	TEL1 ポート TEL2 ポート USB ポート LAN ポート グローバル着信を拒否 (サブアドレスなし着 信拒否) グローバル着信を許可
	\$Mn?	* 2-31-n	サブアドレスでのグロー バル着信の設定値の表示		(サフアドレスなし着 信許可)
☆	\$Nn=m	* 1-32- n-m	ダイヤルインでのグロー バル着信の設定	n=1 2 5 6 m=0	TEL1 ポート TEL2 ポート USB ポート LAN ポート グローバル着信を拒否
	\$Nn?	* 2-32-n	ダイヤルイン番号でのグ ローバル着信の設定値を 表示	出荷時設定」 1	グローバル着信を許可
	\$R		直前の通信での回線切断 理由、料金の表示		

(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
•	\$Sn		非同期発信時の回線速度 の設定	出荷時設定) N=0	端末速度と同速度で発 信
				1	回線速度 9600bit/s で 発信
				2	回線速度 19200bit/s で 発信
				3	回線速度 38400bit/s で 発信
				4	回線速度 57600bit/s で 発信
	\$S?		非同期発信時の回線速度 の確認		
☆	\$Wn=m	* 1-58- n-m	内線呼び出し音の変更	n=1 2	TEL1 ポート TEL2 ポート
				m=0	リーン・リーン
				出荷時設定 2	リーンリン・リーンリ
	\$Wn?	* 2-58-n	内線呼び出し音設定値の 表示		
☆	\$Xn=m	* 1-64- n-m	切断信号の送出	n=1 2	TEL1 ポート
				出荷時設定) M=0	切断信号を送出しない
	\$Xn?	* 2.64 n	切断信号設定値の事子	1	切断信号を送出する
		* 2-04-11	の町旧方政定値の衣木		
*	@AI=XXX	* 5-r-1- xxx-#	電話番亏	$xxx=0 \sim 9$	(登録番号の設定) 着信制御の電話番号を 設定
				*	サブアドレス番号は*
					の後に入力(アテロク ポートから「r」の値を
					設定および確認時は "01"のように2桁で
	@Ar?	* 6-r-1	着信制御リストの電話番 号設定値の表示		ハリしま 9)

(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
☆	@Br:n=m	* 5-r-2- n-m	着信制御	r=0-19 98 99 n=1 2 5 6 m=0 ₩₩₩₩ 1 2 3	 (登録番号の指定) 98:非通知 99:未登録 TEL1ポート TEL2ポート USBポート LANポート 優先着信 標準着信 遅近着信 拒否 (アナログポートから 「r」の値を設定および 確認時は "01"のよう に2桁で入力します)
	@Br:n?	* 6-r-2-n	ポート着信動作指定設定 値の表示		
☆	@Cn	* 1-33-n	迷惑電話おことわりサービス選択	<u>出荷時設定</u>) n=0 1	INS 迷惑電話おことわ りサービス 疑似迷惑電話おことわ り機能
		* 2-33	述惑電話おことわりサー ビス設定値の表示		
*	@Dn	「1442」 (迷惑通行に 後1 にたかかし したか イヤル)	疑似迷惑電話おことわり 番号登録	n=1 2 5 6	TEL1 ポート TEL2 ポート USB ポート LAN ポート 着信制御リストの後ろ から電話番号が空の項 目を検索して、自動的 に全ポート着信拒否を 設定する(番号非通知 着信は登録できませ ん)
*	@E	「1449」	疑似迷惑電話おことわり 番号一括削除		全ての迷惑電話登録を 削除(全ポート着信拒 否の登録は迷惑電話登 録とみなし削除しま す)
☆	@Fn	* 1-34-n	なりわけサービス	<u>出荷時設定</u> n=0 1	INS なりわけサービス 疑似なりわけ機能
	@F?	* 2-34	なりわけの設定の表示		

(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
☆	@Gn	* 1-35-n	INS なりわけ鳴動音	n=0	リーン・リーン
				出荷時設定) 2	リーンリン・リーンリ
					ン ン
	@G?	* 2-35	INS なりわけ鳴動音の設 定値の表示		
☆	@Hr=n	* 5-r-3-n	疑似なりわけ鳴動音	r=0-19 98	(登録番号の指定) 08・非通知
				99	99:未登録
				出荷時設定) N=0	リーン・リーン
				1	リーーン・リーーン
				2	リーンリン・リーンリ ン
	@Hr?	* 6-r-3	疑似なりわけ鳴動音の設		(アナログポートから
			定値の表示		「r」の値を設定および
					確認時は "01" のよう
*	@In	* 1-37-n	i・ナンバー	出荷時設定	
	U			1	使用する
	@!?	* 2-37	i・ナンバーの設定値の表		
			示		
☆	@Jn=m	* 1-38-	i・ナンバー着信ポート	n=1	TEL1 ポート
		n-m		2	TEL2 ボート
				6	USB ホート I AN ポート
				m=0	全番号で着信 /i・ナン
					バー情報1で発信
				1	i・ナンバー情報1で発 差信
				2	¹ ・ナンバー情報2で発
					着信
				3	i・ナンバー情報3で発 美信
				业在时改会	/但1급 TFI 1·m=1
					TEL2:m=2
					USB:m=0
					LAN:m=0
	@Jn?	* 2-38-n	i・ナンバー着信ポート設 定値の表示		

(注)	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
☆	@On=m	* 1-45-	ナンバー・ディスプレイ	n=1	TEL1
		n-m	オプションの設定	2	TEL2
				出荷時設定) m=0	オプションなし
				1	キャッチホン・ディス
					プレイ
				2	ネーム・ディスプレイ
				3	キャッチホン・ディス
					プレイ+ネームディス
					プレイ
	@On?	* 2-45-n			

S レジスタ設定一覧

	AT コマンド	テレホン 設定	機能	パラメータ	内容
	Sn=m Sn?		S レジスタの設定 S レジスタの内容		
•	S0		自動着信時のベル音 (RING)の回数 を設定(自動着信しない 場合は0)	0~15	初期値 0
	S1		ベル音(RING)の回数 を計測表示	$0\sim 255$	初期値 0
•	S2		エスケープコードのキャ ラクタコードを設定	0~127	初期値 43
	S3		キャリッジリターン (CR)コードのキャラク タコードを設定	0~127	初期値 13
	S4		ラインフィード(LF) コードのキャラクタコー ドを設定	0~127	初期値 10
	S5		バックスペース(BS) コードのキャラクタコー ドを設定	0~127	初期値 8
	S7		発信時呼放棄時間(秒)	$0\sim 50$	初期値 50
•	S12		エスケープコードガード 待ち時間 (0.02 秒単位)	$0\sim 255$	初期値 50
•	S25		ER 信号の状態変化確定 時間 (0.01 秒単位)	0~255	初期値 5
	S30		無通信回線切断タイマ (分)設定回線接続中に 送受信データがない場 合、この時間を経過する と回線を切断します。 (無効時は0に設定)	0~255	初期値 0
	S32		XON キャラクタコード を設定	0~127	初期値 17
	S33		XOFF キャラクタコード を設定	0~127	初期値 19

\$I レジスタ設定一覧

	AT コマンド	テレホン設 定	機能	パラメータ	内容
	\$In=m		\$I レジスタの設定		
	\$In?		\$I レジスタの内容		
\bullet	\$I10		相手先ダイヤル番号とサ	出荷時設定	表示しない
			ブアドレスの自動表示の 設定	1	表示する
•	\$111	* 1-52-1-m * 2-52-1	TEL1 ポートのダイヤル 発信時間(秒)	3 ~ 15	初期値 4 (テレホン設定での設定時
•	\$112	* 1-52-2-m * 2-52-1	TEL2 ポートのダイヤル 発信時間(秒)		"04"のように2桁で入 力します)
•	\$118		回線切断理由の自動表示 を設定	出荷時設定) () 1	表示しない 表示する
	\$I19		料金情報の自動表示を設	出荷時設定) ()	表示しない
			定	1	表示する
•	\$120	* 1-36-m * 2-36	先行 / 遅延着信の遅延回 数(回)	0~9	初期値 5
•	\$121	* 1-53-1-m * 2-53-1	TEL1 ポートの HLC の 設定	0~127	初期値 0 (テレホン設定での設定時
•	\$122	* 1-53-2-m * 2-53-2	TEL2 ポートの HLC の 設定		"001"のように3桁で入 カします)「HLC(高位レ
•	\$125	* 1-53-5-m * 2-53-5	USB ポートの HLC の設 定		1 7 空口住)の設定」 (p.9-18)
•	\$126	* 1-53-6-m * 2-53-6	LAN ポートの HLC の設 定		
•	\$129	* 1-44-m * 2-44	鳴動周波数の設定	16 ~ 30	初期値 20
•	\$140		スループット BOD によ るチャネル追加時の回線 使用率算出のための評価 時間(単位:1 秒)	1 ~ 255	初期値 10
•	\$141		スループット BOD によ るチャネル追加状態の最 小保持時間(単位:5 秒)	1 ~ 255	初期値 6
•	\$142		スループット BOD によ るチャネル追加の基準と なるしきい値(回線利用 率)の設定(単位:%)	0~100	初期値 60 (約 4.8Kbit/s)
	\$143		スループット BOD によ るチャネル削除時の回線 使用率算出のための評価 時間(単位:1 秒)	1 ~ 255	初期値 10

第 9 章

	AT コマンド	テレホン設 定	機能 パラメータ		内容
	\$144		スループット BOD によ るチャネル削除状態の最 小保持時間(単位:5 秒)	1 ~ 255	初期値 6
•	\$145		スループット BOD によ るチャネル削除の基準と なるしきい値(回線利用 率)の設定(単位:%)	0~100	初期値 10 (約 0.8Kbit/s)
	\$188		ISDN 回線の切断理由	$0\sim 127$	初期値 0
☆		* 1-81-XXX * 2-81	LAN 側 IP アドレス		XXX:LAN 側 IP アドレ ス (設定例:* 1-81-192 * 168 * 1 * 1#)
☆		* 1-82-XXX * 2-82	LAN 側サブネットマス ク		XXX:LAN 側サブネット マスク (設定例:* 1-82-255 * 255 * 255 * 0#)

● HLC(高位レイヤ整合性)の設定

AT\$I21 ~ 25 で始まる HLC の設定について説明します。 通常は、初期値の 0(HLC なし送出)でお使いください。 TEL1、TEL2 に接続されたアナログ通信機器や USB ポート、LAN ポートに接続されたパソコン に HLC を設定すると、発信時に HLC をつけて発信を行ないます。 HLC コードを以下に示します。

コード	種別
0	HLC なし送出
1	電話
4	G/G3 ファクス
33	G4 ファクス
36	ミックスモード
49	テレックス
50	ビデオテックス
53	テレックス
56	メッセージ処理システム
65	OSI アプリケーション

9.1.4 通信ソフト内初期化コマンド

ご使用の通信ソフトなどで、AT コマンドを直接設定する必要がある場合は、以下の例を参考にしてください。

回線速度	AT コマンド
9.6k 非同期	AT&K3&Q0\$S1
19.2k 非同期	AT&K3&Q0\$S2
38.4k 非同期	AT&K3&Q0\$S3
57.6k 非同期	AT&K3&Q0\$S4
64k 同期	AT&K3&Q1
128k 同期 MP	AT&K3&Q2
32k PIAFS	AT&K3&Q3&P0
64k PIAFS (Ver2.0)	AT&K3&Q3&P1
64k PIAFS(Ver2.1)	AT&K3&Q3&P1

☆Point'

≪フロー制御の設定時の注意事項≫

• フロー制御方式の設定は、ハードウェアフロー制御(RTS/CTS)を選択してください。

9.2 リザルトコード

AT コマンドの実行結果として、IPMATE1600RD からパソコンに返されるのが、リザルトコードです。ユーザーや通信ソフトは、リザルトコードによって通信結果や状況を知ることができます。

リザルトコードの表示形式は文字 / 数字の 2 通りがあり、ATVn コマンドで選択することができます。 英語表示の場合 (ATV1)

CR	LF	リザルトコード	CR	LF
数字表示	の場合	(ATV0)		

リザルトコード	CR

リザルトコード一覧表を以下に示します。

) リサルトコー	トー覧
----------	-----

数字	文字	意味
0	ОК	コマンドの正常実行
1	CONNECT	接続完了
2	RING	呼出信号の検出
3	NO CARRIER	回線切断
4	ERROR	コマンドエラー
6	NO DIALTONE	回線接続不可
7	BUSY	相手話中、回線使用中
8	NO ANSWER	通信相手不在
12	CONNECT 9600	9600bit/s 接続
16	CONNECT 19200	19200bit/s 接続
17	CONNECT 38400	38400bit/s 接続
18	CONNECT 57600	57600bit/s 接続
19	CONNECT 115200	115200bit/s 接続
20	CONNECT 64000	64000bit/s 接続
22	CONNECT 230400	230400bit/s 接続
23	CONNECT 32000	32000bit/s 接続
24	DELAYED	リダイヤル待機中

リザルトコードを表記する内容形式は、ATXn コマンドで指定することができます。

リザルトコードの表記内容の形式を以下に示します。

リザルトコード表記内容一覧

数字	文字	基本	拡張 1	拡張 2	拡張 3	拡張 4	拡張 5
0	OK	0	0	0	0	0	0
1	CONNECT	0	×	×	×	×	×
2	RING	0	0	0	0	0	0
3	NO CARRIER	0	0	0	0	0	0
4	ERROR	0	0	0	0	0	0
6	NO DIALTONE	0	0	0	0	0	0
7	BUSY	0	0	0	0	0	0
8	NO ANSWER	0	0	0	0	0	0
12	CONNECT 9600	×	0	0	0	0	×
16	CONNECT 19200	×	0	0	0	0	×
17	CONNECT 38400	×	0	0	0	0	×
18	CONNECT 57600	×	0	0	0	0	×
19	CONNECT 115200	×	0	0	0	0	×
20	CONNECT 64000	×	0	0	0	0	×
22	CONNECT 230400	×	0	0	0	0	×
23	CONNECT 32000	×	0	0	0	0	×
24	DELAYED	0	0	0	0	0	0

第 9 章

9.3 切断理由

通信中に INS ネット 64 側から切断された場合、切断理由が通知されます。 この切断理由は、AT\$R コマンドで表示することができます。 このとき、画面には切断理由、料金(円)の順に表示されます。 理由は番号で表示されますので、以下に示す切断理由一覧表をご参照ください。

AT\$R の表示番号	切断理由
正常クラス	
1	欠番
2	指定中継網へのルートなし
3	相手へのルートなし
6	チャネル利用不可
7	呼が設定済みのチャネルへの着呼
16	正常切断
17	着ユーザビジー
18	着ユーザレスポンスなし
19	着ユーザ呼出中 / 応答なし
21	通信拒否
22	相手加入者端末番号変更
26	選択されなかったユーザの切断復旧
27	相手端末故障中
28	無効番号フォーマット
29	ファシリティ拒否
30	状態問い合わせの応答

AT\$R の表示番号	切断理由		
リソース使用不可クラス			
31	その他の正常クラス		
34	利用可回線 / チャネルなし		
38	網障害		
41	一時的障害		
42	交換機輻輳		
43	アクセス情報廃棄		
44	要求回線 / チャネル利用不可		
47	その他のリリース使用不可クラス		
サービス提供不可クラス			
49	QOS 利用不可		
50	要求ファシリティ未契約		
57	伝達能力不許可		
58	現在利用不可伝達能力		
63	その他のサービスまたはオプションの利用不可クラス		
サービス未提供クラス			
65	未提供伝達能力指定		
66	未提供チャネル種別指定		
69	未提供ファシリティ要求		
70	制限デジタル情報伝達能力		
79	その他のサービスまたはオプションの未提供クラス		

第 9 章

AT\$R の表示番号	切断理由
無効メッセージクラ	ラス
81	無効呼番号使用
82	無効チャネル番号使用
83	指定された中継呼識別番号未使用
84	中継呼識別番号使用中
85	中継呼なし
86	指定中継呼切断復旧済み
87	ユーザは CUG メンバではない
88	端末属性不一致
91	無効中継網選択
95	その他の無効メッセージクラス
手順誤りクラス	
96	必須情報要素不足
97	メッセージ種別未定義または未提供
98	呼状態とメッセージ不一致またはメッセージ種別未定義
99	情報要素未定義
100	情報要素内容無効
101	呼状態とメッセージ不一致
102	タイマ満了による回復
111	その他の手順誤りクラス
インターワーキング	ブクラス
127	その他のインターワーキングクラス

9.4 LAN ポート関連設定項目

LAN ポート関連項目はブラウザ設定と設定ユーティリティによって設定を行なうことができます。

☆Point'

• 半角文字 : 英字、数字、記号

記号 │¥+=!#\$%&""()[~]^-@`<>[],.:;_{}/ * ?| 及びスペース

• 全角文字: 半角文字で文字数を換算します。

設定項目		説明	設定内容	初期値										
ТОР		動作モード設定		・TA モード ・ダイヤルアップルータモード ・ブロードバンドルータモード	ダイヤルアップルー タモード									
ダイヤル	端末型接	フレッツ・ISDN		利用しない/利用する	利用しない									
アップ	続	接続先の名前		64 文字、全角・半角文字										
ルータ モード (館単設		接続先	電話番号	半角数字、(、)、-、* 32 文字										
定)		ユーザー名		64 文字、半角文字										
		パスワード		32 文字、半角文字										
		DNS サーバ		指定 / 自動	自動									
			プライマリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX										
			セカンダリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX										
ダイヤル	自動接続	接続先		手動 / 自動	自動									
アップルータ			接続先	・ダイヤルアップ1~4 ・LAN 型接続	ダイヤルアップ 1									
モート (詳細設		接続失敗時の再発	ê信規制	規制しない/規制する	規制する									
定)	端末型接	《ダイヤルアップ	*											
	続	ダイヤルアップ選択		ダイヤルアップ1~4	ダイヤルアップ 1									
		フレッツ・ISDN		利用しない/利用する	利用しない									
		接続先の名前		64 文字、全角・半角文字										
		接続先	電話番号 1	半角数字、(、)、-、* 32 文字										
			電話番号2	半角数字、(、)、-、* 32 文字										
			電話番号3	半角数字、(、)、-、* 32 文字										
											ユーザー名		64 文字、半角文字	
		パスワード		32 文字、半角文字										
		Unnumbered		使用しない/使用する	使用しない									
			WAN 側 IP アド レス	XXX.XXX.XXX.XXX										
		アドレス変換(N	ĂT)	無効 / 有効	有効									
		アドレス変換(IF	^o マスカレード)	無効 / 有効	有効									
			IP マスカレード 用 IP アドレス	XXX.XXX.XXX										
		アドレス変換(有	ī动時間)	1~65535秒	60									
		デフォルトルー	経路名	WAN/LAN	WAN									
			デフォルトゲー トウェイ	XXX.XXX.XXX										
		接続情報		64k/128k	64k									

	設定項目		説明	設定内容	初期値
ダイヤル	端末型接	認証プロトコル		自動 /PAP/CHAP/ なし	自動
アップ	続	自動切断		無効 / 有効	有効
ルータ エード			切断時間	1~32400秒	60
(詳細設		接続制限		無効 / 有効	有効
定)		無課金コールバッ	ック	無効 / 有効	無効
		DNS サーバ		指定 / 自動	自動
			プライマリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
			セカンダリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
		《RAS》			
		RAS		無効 / 有効	無効
		接続先		・IP アドレスを指定	IP アドレスを指定
				・DHCP サーバから割当てる	
			IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	192.168.1.253
		接続情報		64K/128K	64K
		認証プロトコル		自動 /PAP/CHAP/ なし	自動
		自動切断		無効 / 有効	有効
			切断時間	1~32400秒	600
		無課金コールバッ	ク	無効 / 有効	無効
		《RAS ユーザ登録	$\langle \rangle$		
		ユーザー選択		ユーザー1~4	ユーザー1
		ユーザー名		64 文字、半角文字	
		パスワード		32 文字、半角文字	
		MS-CBCP コール	バック	無効 / 有効	無効
			次の電話番号に コールバック	半角数字、(、)、-、* 32 文字	
	LAN 型接	接続先の名前		64 文字、全角・半角文字	
	秔	接続先	電話番号	半角数字、(、)、-、* 32 文字	
		ユーザー名(発信	言)	64 文字、半角文字	
		パスワード(発信	<u>=)</u>	32 文字、半角文字	
		接続先	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
			ネットマスク	yy (2 ~ 30)	24(255.255.255.0)
		ユーザー名(着信	言)	64 文字、半角文字	
		パスワード(着信	言)	32 文字、半角文字	
		Unnumbered		使用しない / 使用する	使用しない
			WAN 側 IP アド レス	XXX.XXX.XXX.XXX	
		アドレス変換(N	AT)	無効 / 有効	有効
		アドレス変換(IF	<u>・マスカレード)</u>	無効 / 有効	有効
			IP マスカレード 用 IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
		アドレス変換(有	前 动時間)	1~65535秒	60
		デフォルトルー	経路名	WAN/LAN	WAN
			デフォルトゲー トウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX	
		接続情報		64k/128k	64k
		認証プロトコル		自動 /PAP/CHAP/ なし	自動
		自動切断		無効 / 有効	有効
			切断時間	1~32400秒	60
		接続制限		無効 / 有効	有効
		無課金コールバッ	ック	無効 / 有効	無効

$ \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $		設定項	ίΞ	説明	設定内容	初期値
$ \begin{array}{c c} 7 \cup 7 \\ 7 \cup 7 \cup$	ダイヤル	LAN 型接	DNS サーバ		指定 / 自動	自動
下下点 セカンタリーIP XXX XXX XXX XXX 第用線 ユーザー名(第信) 64 文字、半角文字 7 接続先 IP 7 ドレス XXX XXX XXX XXX 1 ユーザー名(第信) 64 文字、半角文字 1 ブスワード(第信) 22 文字、半角文字 1 Unnumbered 使用しない/使用する 使用しない レス/ネットマ XXX XXX XXX XXX 1 アドレス変換(NAT) 第効/有効 有効 アドレス変換(NAT) 第効/有効 有効 アドレス変換(IP マスカレード) 第効/有効 有効 アドレス変換(市会助問) 1 660358 アドレス変換(IP マスカレード) 第効/有効 有効 アドレス変換(IP マスカレード) XXX XXX XXX XXX 1 アドレス変換(ADHE) 1 600 デフォルトゲー ドウェイ 5 NS サーバ ブライマリーIP XXX XXX XXX XXX XXX DNS サーバ ブライマリーIP XXX XXX XXX XXX XXX ガンス アドレス 5 ガンタリーP XXX XXX XXX XXX XXX XXX 1 アドレス マシュー 1 2 ガンパー アドレス 1 1	アップ ルータ	続		プライマリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
東用線 ユーザー名 (発信) 64 文字,半角文字 ガスワード (発信) 32 文字,半角文字 マボスワード (発信) 32 文字,半角文字 マボスワード (著信) 64 文字,半角文字 Unnumbered 使用しない/使用する WAN 側IP アド レス/ネットマ 22 マ,半角文字 Unnumbered 使用しない/使用する WAN 側IP アド レス/ネットマ 22 マ,半角文字 Unnumbered 使用しない/使用する アドレス変換 (NAT) 無効/有効 アドレス変換 (NAT) 無効/有効 アドレス変換 (AD) 第 (AAT) アドレス変換 (AD) (AAT) アドレス センタ (AAT) アドレス センタ (AAT) マライマリーIP XXX.XXX.XXX.XXX アドレス (AD) ADD (AT) ADD (AT) ADD (AT) ADD (AT) ADD (AT) ADD (AT) ADD	モート (詳細設 史)			セカンダリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	Æ)	専用線	ユーザー名(発信	;)	64 文字、半角文字	
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$			パスワード(発信	i)	32 文字、半角文字	
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$			接続先	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$			ユーザー名(着信	()	64 文字、半角文字	
Unnumbered 使用しない/使用する 使用しない アドレス変換(NAT) 無効/有効 有効 アドレス変換(NAT) 無効/有効 有効 アドレス変換(Pマスカレード) 無効/有効 有効 アドレス変換(Pマスカレード) 無効/有効 有効 アドレス変換(Pマスカレード) 無効/有効 有効 アドレス変換(AT) 無効/有効 有効 アドレス変換(有効時間) 1~65535秒 60 デフォルトルー 経路名 WAN/LAN WAN トウェイ アドレス ビス・XXX.XXX.XXX 1 DNS サーバ ブライマリーP XXX.XXX.XXX 1 アドレス ビカンダリーP XXX.XXX.XXX 1 WAN ジースのの ・発信「おのみ割てる : リンース BOD ・発信「分面の上り、クシーン ・発信「テクのみ評価し追加する ごる スループット BOD 無効/有効 第効 10 10			パスワード(着信])	32 文字、半角文字	
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$			Unnumbered		使用しない/使用する	使用しない
$ \left \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $				WAN 側 IP アド レス / ネットマ スク	xxx.xxx.xxx.xxx/yy	
BOD/ BACP $r = r + \lambda . \mu $ (IP $r = 2 , \lambda . \mu - r + \lambda .$) $r = r + \lambda . \mu + \mu - r + \lambda .$ $r = r + \lambda . \mu + \mu$			アドレス変換(N	AT)	無効 / 有効	有効
$ \left \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $			アドレス変換(IF	<u>・マスカレード)</u>	無効 / 有効	有効
$ \left \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $				IP マスカレード 用 IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
デフォルトルート 経路名 WAN/LAN WAN デフォルトゲート デフォルトゲート XXX.XXX.XXX NX DNS サーバ プライマリーIP アドレス XXX.XXX.XXX Image: Constraint of the state of the s			アドレス変換(有	<u>[</u> 効時間)	1~65535秒	60
$ \left \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $			デフォルトルー	経路名	WAN/LAN	WAN
DNS サーバ プライマリー IP アドレス XXX.XXX.XXX XXX.XXX BOD/ BACP (128K マルチリンク PPP)》 XXX.XXX.XXX 2 チャネル/1 チャネル 2 チャネル (リソース BOD) ・発信 / 着信とも割当てる ・着信時のみ割当てる ・着信時のみ割当てる ・第割守てをおこなわない 発信 / 着信とも割当 てる 発信 / 着信とも割当 てる (スループット BOD) ・発信 / 有効 無効 第位 第位 (スループット BOD) ・第効 / 有効 無効 第位 (シーズット BOD) 三川 ションマント 10 (シープット BOD) 三川 10 10 (シーブット BOD) 三川 10 10 (シープット 10 10 10 (シーグのみ) 10 10 10 (シークのみ) 10 10				デフォルトゲー トウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX	
BOD/ BACP $(128K \forall \mu f \mu) \forall \rho$ PPP) 3 n j l k k f h r h h k k h h h h h h h h h h h h h h			DNS サーバ	プライマリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
BOD/ BACP 《128K マルチリンク PPP》 2 チャネル/1 チャネル 2 チャネル (リソース BOD) ・発信 / 着信とも割当てる ・着信時のみ割当てる ・着信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない 発信 / 着信とも割当 てる (スループット BOD) ・発信 / 有効 発信 / 着信とも割当 てる スループット BOD) 無効 / 有効 無効 チャネル追加 評価方向 ・送受信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する 追加をおこなわない しきい値 0 ~ 100% 60 10 野価時間 1 ~ 255 秒 10 10 最小保持時間 5 ~ 1275 秒 30 10 サイ特時間 ・送受信データとも評価し削除する ・送信データのみ評価し削除する 削除をおこなわない 10 レきい値 0 ~ 105% 10 10				セカンダリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX	
BACP 初期接続チャネル数 2 チャネル /1 チャネル 2 チャネル $\langle U \mathcal{Y} - \mathcal{Z} \text{ BOD} \rangle$ ・発信 / 着信とも割当てる ・着信時のみ割当てる ・発信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない 発信 / 着信とも割当 てる $\langle \mathcal{X} \mathcal{L} - \mathcal{I}^{\vee} Y BOD \rangle$ 無効 / 有効 発信 $\langle \mathcal{X} \mathcal{L} - \mathcal{I}^{\vee} Y BOD \rangle$ 無効 / 有効 無効 $\langle \mathcal{X} \mathcal{L} - \mathcal{I}^{\vee} Y BOD \rangle$ 無効 / 有効 無効 $\langle \mathcal{X} \mathcal{L} - \mathcal{I}^{\vee} Y BOD \rangle$ 無効 / 有効 無効 $\mathcal{I} \mathcal{I} = \mathcal{I}^{\vee} Y BOD \rangle$ 短信 / 一日 ○ $\mathcal{I} \mathcal{I} = \mathcal{I} Y Y BOD \rangle$ ● 日 ● 日 ● 日 $\mathcal{I} \mathcal{I} = \mathcal{I} Y Y Y I I I I I I I I$		BOD/	《128K マルチリン	ック PPP》		
		BACP	初期接続チャネル	⁄数	2 チャネル /1 チャネル	2チャネル
リソース BOD ・発信 / 着信とも割当てる ・発信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない 発信 / 着信とも割当 てる 《スループット BOD》 無効 / 有効 無効 スループット BOD 無効 / 有効 無効 チャネル追加 評価方向 ・送受信データとも評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する 追加をおこなわない しきい値 0 ~ 100% 60 評価時間 1 ~ 255 秒 10 最小保持時間 5 ~ 1275 秒 30 チャネル削除 評価方向 ・送受信データとも評価し削除す る ・送信データのみ評価し削除する ・送信データのみ評価し削除する ・送信データのみ評価し削除する 削除をおこなわない しきい値 0 ~ 00% 10			《リソース BOD》		r	
(リソース BOD		 ・発信 / 着信とも割当てる ・着信時のみ割当てる ・発信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない 	発信 / 着信とも割当 てる
スループット BOD無効/有効無効チャネル追加評価方向・送受信データとも評価し追加する ・受信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない追加をおこなわないしきい値0~100%60評価時間1~255秒10最小保持時間5~1275秒30チャネル削除評価方向・送受信データとも評価し削除する る ・受信データのみ評価し削除する ・受信データのみ評価し削除する ・削除をおこなわない削除をおこなわない			《スループット BG	SD》	-	
チャネル追加 う の ・受信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない追加をおこなわない 追加をおこなわないしきい値0~100%60評価時間1~255秒10最小保持時間5~1275秒30チャネル削除評価方向・送受信データとも評価し削除する ・受信データのみ評価し削除する ・送信データのみ評価し削除する ・削除をおこなわない削除をおこなわないしきい値0~100%10			スループット BO	D	無効 / 有効	無効
・受信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない 追加をおこなわない 追加をおこなわない しきい値 0 ~ 100% 60 評価時間 1 ~ 255 秒 10 最小保持時間 5 ~ 1275 秒 30 チャネル削除 評価方向 ・送受信データのみ評価し削除する る ・受信データのみ評価し削除する ・送信データのみ評価し削除する ・削除をおこなわない 削除をおこなわない しきい値 0 ~ 100% 10			チャネル追加	評価方向	・送受信データとも評価し追加す る	
しきい値 0~100% 60 評価時間 1~255秒 10 最小保持時間 5~1275秒 30 チャネル削除 評価方向 ・送受信データとも評価し削除する、 ・受信データのみ評価し削除する、 ・送信データのみ評価し削除する ・削除をおこなわない 削除をおこなわない しきい値 0~100% 10					・受信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない	追加をおこなわない
評価時間 1~255秒 10 最小保持時間 5~1275秒 30 チャネル削除 評価方向 ・送受信データとも評価し削除する る。 ・受信データのみ評価し削除する。 ・送信データのみ評価し削除する。 ・削除をおこなわない 削除をおこなわない しきい値 0~100% 10				しきい値	$0 \sim 100\%$	60
最小保持時間 5~1275秒 30 チャネル削除 評価方向 ・送受信データとも評価し削除する 。 ・受信データのみ評価し削除する。 ・送信データのみ評価し削除する。 ・削除をおこなわない 削除をおこなわない しきい値 0~100% 10				評価時間	1~255秒	10
チャネル削除 評価方向 ・送受信データとも評価し削除す ・受信データのみ評価し削除する ・説除をおこなわない ・送信データのみ評価し削除する ・ ・削除をおこなわない 10				最小保持時間	5~1275秒	30
しきい値 0~100% 10			チャネル削除	評価方向	 ・送受信データとも評価し削除する ・受信データのみ評価し削除する ・送信データのみ評価し削除する ・削除をおこたわたい 	削除をおこなわない
				しきい値	0~100%	10
				<u></u> 評価時間	1~255秒	10
最小保持時間 5~1275秒 30				最小保持時間	5~1275秒	30
(BACP/BAP)			《BACP/BAP》	THE FEET OF THE		-
BACP/BAP 無効 / 有効 無効			BACP/BAP		無効 / 有効	無効

	設定項	间	説明	設定内容	初期値
ダイヤル アップ	接続制限	回線使用料		0 ~ 9999999 円 /1 日・1 週間・ 1ヶ月	3000 円 /1 週間
ルータ モード (詳細設		接続時間		・0 ~ 23 時間 /1 日 ・0 ~ 167 時間 /1 週間 ・0 ~ 743 時間 /1ヶ月	30 時間 /1 週間
) 正)		接続回数		0~9999回 /1~1440 分	0回/1分
		クリア機能		・0 時 0 分~ 23 時 59 分 / 日 ・日~土曜日 / 週 ・1 ~ 31 日 / 月	0 時 0 分 金曜日 1 日
	LAN ポー ト	電話番号		半角数字、(、)、-、 * 32 文字* 19 文字	
		着信転送		利用する / 利用しない	利用しない
			着信転送先電話 番号	半角数字、(、)、-、* 32 文字	
		i・ナンバー		 ・全番号で着信する /i・ナンバー 情報1で発信する ・i・ナンバー情報1で発着信する ・i・ナンバー情報2で発着信する ・i・ナンバー情報3で発着信する 	全番号で着信する / i・ナンバー情報 1 で 発信する
		グローバル着信		着信しない / 着信する	着信する
		サブアドレスなし	レ着信	着信しない / 着信する	着信する
		発信者番号通知		 ・通知しない ・電話番号を通知する ・契約者回線番号を通知する ・INS ネット 64 申込内容に従う 	INS ネット 64 申込内 容に従う
		HLC(高位レイ1	7整合性)	・HLC なし ・電話 ・G2/G3 ファクス ・G4 ファクス ・ミックスモード ・テレテックス ・ビデオテックス ・ビデオテックス ・テレックス ・メッセージ処理システム ・OSI アプリケーション	HLC なし
ブロード バンド ルータ	接続形態 選択			・フレッツ ADSL(PPPoE) ・その他のネットワーク ・アクセスポイント	フレッツ ADSL (PPPoE)
モード	フレッツ	PPPoE 接続		無効/常時接続/自動/手動	常時接続
	(PPPoE)	WAN 側	IP アドレス	XXX.XXX.XXX	
	\		ネットマスク	yy (2 ~ 30)	24(255.255.255.0)
		ユーザー名		64 文字、半角文字	
		パスワード		32 乂子、丰角乂子	行用 六十
		目動切断			無効
		MTU	り断時间	1~32400秒	1454
		DNS サーバ	プライマリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
			セカンダリー IP アドレス	xxx.xxx.xxx	
		デフォルトルー	経路名	WAN/LAN	WAN
			デフォルトゲー トウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX	

設定項目		説明	設定内容	初期値	
ブロード	その他の	DHCP クライアン	· ト	無効 / 有効	無効
バンド	ネット	WAN 側	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
ルータ ワ- モード	ワーク		ネットマスク	yy $(2 \sim 30)$	24(255.255.255.0)
		DNS サーバ	プライマリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
			セカンダリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
		デフォルトルー	経路名	WAN/LAN	WAN
		F	デフォルトゲー トウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX	
	アクセス ポイント	DNS サーバ	プライマリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
			セカンダリー IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
		デフォルトルー ト	デフォルトゲー トウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX	
	ランプ表 示	B1、B2 ランプ		表示しない/表示する	表示しない
タイヤル	ルータ	《LAN 情報》			
ノッフ ルータ モード		LAN 側	IP アドレス / ネットマスク	xxx.xxx.xxx.yy	192.168.1.1/24
<u>с</u> і		ホスト名		64 文字、半角文字	IPMATE1600RD
		IP フィルタ		無効 / 有効	有効
		スイッチ動作選択	5	BOD/ 接続・切断	BOD
		ブザー音		無効 / 有効	有効
ブロード	ルータ	《LAN 情報》	1		
ハント		LAN 側	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	192.168.1.1
モード			ネットマスク	yy (2 ~ 30)	24(255.255.255.0)
		アドレス変換(N	AT)	無効 / 有効	有効
		アドレス変換(IF	<u>ヽマスカレード)</u>	無効 / 有効	有効
			IP マスカレード 用 IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	
		アドレス変換(有	ī効時間)	1~65535秒	60
		ホスト名		64 文字、半角文字	IPMATE1600RD
		IP フィルタ		無効 / 有効	有効
ダイヤル	ルータ	《ワイヤレス LAN	情報》		
<u> アッフノ</u> ブロード		ESSID		32 文字、半角文字	1600RDxxxxxx
バンド		WEP		使用しない / 使用する	使用しない
共通項目			暗号キー1	・5 文字または 13 文字、半角英数	
			暗号キー2 暗号キー3	字 ・10 桁または 26 桁、0 ~ 9、A ~ F	
			暗号キー4	・ (0x'は入力不要	
		チャネル		1~14	1
		RTS 機能		$0 \sim 3000$	2432
		フラグメンテーシ	/ョン機能	$256 \sim 2346$	2346
				無効 / 有効	
		$\langle DHCP \forall -1 \rangle$			
		DHCP サーバ		無効 / 有効	
		割当てアドレス	開始 IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	192.168.1.2
			終了 IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	192.168.1.250
		リース時間		0 ~ 999999 時間	72
		DNS サーバ	DNS ドメイン名	64 文字、半角文字	
			DNS サーバ IP アドレス	XXX.XXX.XXX	
		デフォルトゲート	・ ウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX	

	設定項	[目	説明	設定内容	初期値
ダイヤル	ルータ	《DNS サーバ》			
<u>アップ /</u>		DNS フォワーデ	ィング	無効 / 有効	有効
ノロート		《SYSLOG》			
ホント		SYSLOG		無効 / 有効	有効
		機能	DEBUG	チェックの有無	チェック無
		12110	INFO	チェックの有無	<u>チェック</u> チェック有
			NOTICE	チェックの有無	チェック毎
		ホストアドレス		XXX.XXX.XXX) <u> </u>
		ファシリティ		$1 \sim 23$	1
	ルーティ	经路選択		WAN/LAN	WAN
	ング	WAN/I AN 側		・ 無 动	
				• RIP	
				• RIP2	無効
				・RIP2(RIP 互換)	
				・ スタノイツク	征动
		RIP2 認証		無効/有効 40 充向 光色充向	無効
	7 6	RIP2 認証十一			
	スターティック	奋亏 四步之 上日 4		$1 \sim 64$	
	ルーティ	宛先ネットワーク	/ ホスト	XXX.XXX.XXX.XXX/yy	
	ング	ケートリェイ			
		経路名			
	マイル	<u> </u>		$1 \sim 64$	
	-	<u> 劉作</u>			
				in/out/inout	
		ノロ			
		达1百九1月知		XXX.XXX.XXX.XXX, *	
			ネットマスク		
			ホート番号	<u>モ_ツク/0~65535/ *</u>	
				• * • icmp	
				• tcp	
				• udp	
				• topfin	
				• icpsyn • teorst	
				• established	
		宛先情報	IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx, *	
			ネットマスク	уу	
			ポート番号	ニーモニック /0 ~ 65535/ *	
	MACアド	番号		$1 \sim 64$	
	レスフィ	MAC アドレス		16 進数 (xx-xx-xx-xx-xx)	
	NAT	+호 ⁄ 브 / 그린 + ロ		グイヤリマップイ・イ	
		按杭尤进扒		タイヤルアック ~ 4 AN 型接続	
				専用線	タイヤルアッフ1
				ブロードバンド	
		番号		$1 \sim 32$	
		LAN 側 IP アドレ	ス	XXX.XXX.XXX.XXX	
		ポート番号	開始ポート	ニーモニック /0 ~ 65535/ *	
			終了ポート	ニーモニック /0 ~ 65535	
		プロトコル		* /tcp/udp	
		WAN 側 IP アドレ	ノス	XXX.XXX.XXX	
	DNS 名前 ^{解油}	番号		1~32	
	肝ズ	IPアドレス		XXX.XXX.XXX.XXX	
		ホスト名		64 文字、半角文字	

l

説明	設定内容	初期値
	毎効/有効	無効
チェック間隔	0~999/分・時間・日	60 分
**		
<i>н</i>	メール看信1~4 ○4 立宮 ◇ ○ → ※ ● 立宮	メール看信1
<u>ار ا</u>	04 文子、主用・干用文子	
~名	64 文字、半角文字	
	32 文字、半角文字	
	無効 / 有効	無効
	半角数字、(、)、-、 * 32 文字* 19 文字	
	利用する / 利用しない	利用しない
着信転送先電話 番号	半角数字、(、)、-、* 32 文字	
	 ・全番号で着信する /i・ナンバー 情報 1 で発信する ・i・ナンバー情報 1 で発着信する ・i・ナンバー情報 2 で発着信する ・i・ナンバー情報 3 で発着信する 	全番号で着信する / i・ナンバー情報 1 で 発信する
	着信しない / 着信する	着信する
~着信	着信しない / 着信する	着信する
	 ・通知しない ・電話番号を通知する ・契約者回線番号を通知する ・INS ネット 64 申込内容に従う 	INS ネット 64 申込内 容に従う
▼整合性)	 ・HLC なし ・電話 ・G2/G3 ファクス ・G4 ファクス ・ミックスモード ・テレテックス ・ビデオテックス ・ビデオテックス ・テレックス ・テレックス ・アレックス ・アレックス ・アレックス ・アレックス ・アレックス ・アレックス 	HLCなし
	32k/64kVer2.0/64kVer2.1	32k
5間	$0 \sim 255$	0
	 ・使用しない ・発信側で使用する ・着信側で使用する 	使用しない
ノク PPP》		
レ致	2 ナャネル /1 ナャネル	2 チャネル

ダイマル メール者 アップ (アップ) (アップ) (アップ) (アンド 共通項目) ダールチェック (アカウント型の) 第数/有効 (アェック問題) 第数/有効 (アンツ) 第数/ (アカウント型の) 第数/ (アカウント型の) Xール者信選択 アカウントの資称、 マカウント2 (マカウント2) Xール者信1(-4 (マカウント2) Xール者信1(-4 (マカウント2) Xール者信1(-4 (マカウント2) Xールサラントの資称、 マカウント2 (マカウント2) Kール者信1(-4 (マカウント2) Xール者信2) Xール者信1(-4 (マカウント2) Yールサラントの資称、 マカウントの資称、 Yールアカマントの資称、 Yールアカマントの資称、 Yールアカマントの資称、 Yールアカマントの資称、 Yールアカマントの資称、 Yールデカントの資称、 Yールデカントの資称、 Yールデカントの資称、 Yールデカントの資称、 Yールデカントの資称、 Yールデカントの資称、 Yールデカントの YTカントの資称、 Yールデカントの資称、 Yールデカントの Y スールアカントの YTカントの資称、 Yールデカントの The H Y スール Yール Yール Yール Yール Yール Yー Xu Xu Yun Yun Yun Yun Yun Yun Yun Yu	設定項目		説明	設定内容	初期値	
ビンフト パレドド メールチェック 無効/有効 無効/ (アナッントで) バーンボーボ シール差信1~4 シール差信1~4 メール差信2歳0 メール差信1~4 メール差信1~4 メールブーバ 64 文字、生角・半角文字 メール差信1~4 メールブカントの通称 64 文字、生角文字 メール差信1~4 メールブカントの通称 64 文字、生角文字 ・ メールブカントの通称 64 文字、半角文字 ・ メールブカントを3 64 文字、半角文字 ・ POP3 シーへへのパスワード 32 文字・単角文字 ・ APOP 認証 第効/有効 無効 電話帯の ・ 第数1有効 無効 第目するの 半角数字・ ・ ・ 第目するの ・ 第数1年数2 ・ 第目するの ・ 第目するの ・ 「ナンパー 電話電の ・ 2 2 2 字 ・ ・ シンパー管電1で発音する ・ 第目するの ・ ・ シンパー管電1 「ナンパー管電1で発音する 第信目でる ・ ・ 「サンパー管電1で数 ・ シンパー管電1 ・ ジョンパー作電1で数音する 第信する 第信する	ダイヤル	メール着	《メール巡回》			1
パシド チェック開席 0~999分・時間・日 60分 メール若信温沢 メール若信1~4 メール若信1 アカウント登録シ メールオ信1~4 メール若信1 アカウント登録シ メールオイ 64 文字、半角文字 メールオ信1 メールブカント名 64 文字、半角文字 POP3 アカウント登録シ メールブカント名 64 文字、半角文字 POP3 POP3 アカントの選び 無効が(右効 無効 第 APOP 認証 無効が(右効 無効 第 オールズロッド 32 文字・半角文字 POP3 POP3 オールブカント名 64 文字、半角文字 POP3 POP3 APOP 認証 半角文字 POP3 POP3 オ信和ジャールのパスワード 32 文字・半角文字 PA PA オールブルボ信11 第 第 第 第 オールズロッド 第 第 第 第 1 オールズロッド 第 第 10 次 * 2 アンバード * 第 * 2 * 1 プローバル茶信報 * 第 * * * * <td><u> </u></td> <td>信</td> <td>メールチェック</td> <td></td> <td>無効 / 有効</td> <td>無効</td>	<u> </u>	信	メールチェック		無効 / 有効	無効
 共通項目 メールするに選択 メールするに選択 メールするに選択 メールすの ベールサーバ 64 文字、全角・半角文字 メールブカウントの通称 64 文字、全角・半角文字 メールブカウント名 64 文字、半角文字 ベスススススススススススススススススススススススススススススススススススス	バンド		<i></i>	チェック間隔	0~999/分・時間・日	60 分
PA-Data Edit (X) X-ル本信(1) X-ルン右(1) X-ルサーバ 64 文字、全角・半角文字 X-ルサーバ X-ルサーバ 64 文字、全角・半角文字 POP3 サーバへのバスワード X-ルアカウント名 64 文字、半角文字 POP3 サーバへのバスワード APOP 認証 用助 / 名加 無効 TA モー ド VSB ポー 電話番号 半角数字、()、、* 32 文字* 19 文字 第効 APOP 認証 電話番号 半角数? 10 文字 名 文字* 19 文字 第 10 文字 APOP 認証 電話番号 ************************************	共通項目		《アカウント登録》	*		
ドカンドウェバ 04 又子、正月・中利又子 メールアカウント名 04 又子、正月・中丸文字/ メス・ルズカウント名 04 又子、正月・宇丸マ POP3 サーバへのバスワード 32 文字、牛角文字 第 APOP 認証 第公内・有効 無効 TAモー USB ボー 電話番号 半月数字、(),、* 著信転送、中和文子、()、、* 32 文字 第 TAモー 「・ナンバー 第 第 「マス・パン子・「何報2 で完全信する」 ・・ナッバー信報1 で発音信する 第 「・ナンバー 「常信報ごろ見する」・ナンバー 全番号で着信する」 「・ナンバー 「常信報ごろ見する」・ナンバー ()、* 「マス・パン子 「常信報2 ご完全信する」 ・・ナンバー信報1 ご完全信する」 「・ナンバー信報1 ご完全信する」 ・・ナンバー信報1 ご完全で見する」 ・・ナンバー信報1 ご完全信する」 「・ナンバー信報1 ご完全 「「報2 ご完全信する」 ・・ナンバー信報1 ご完全」 ・・ナンバー信報1 ご完全」 「マス・パン子 「常信事る」 第 「日」」」 グローバル 着信 第 「日」」」」 ・・テンバー信報1 ご完全」 「マス・パン子 「常信事の」 ・・ナンバー信報1 ご完全」 「シンバー信報1 ご完全」 第 「ク」ーバル 着信 第 「日」」」」 ・・シンバー信報1 ご完全」 ・・シンバー信報1 ご完全」 ・・シンバー信報1 ご完全」 「ク」ー 「「「」」」」 「「」」」」 ・・シンバー信報1 ご完全」			メール者信選択	<u></u>	メール者信1~4	メール者信1
ドロ・ 1 ドロ・ 1 デロ・ パロ・ 1 デロ・ 1 デロ・ 1 デロ・ デロ・ パロ・ 1 デロ・			アカリントの通称	j,	64 乂子、全角・丰角乂子	
メールアカウント名 64 文字: 半角文字 POP3 サーバへのパスワード 32 文字: 半角文字 POP 認証 服幼 有効 TA モー 1058 ボー 電話番号 半角数字: ()、 * 3 著信転送 利用する 利用しない 第日 32 文字: 半月文字 著信転送 利用する 利用しない 第日 32 文字: 19 文字: 10 √2:			メールリーハ		04 乂子、干用乂子/ XXX.XXX.XXX.XXX	
POP3 サーバへのバスワード 32 文字、半角文字 無効 APOP 認証 無効/4効 無効 TA モード USB ボード 電話番号 半角数字、(、)、、* 32 文字*19 文字 着信転送 別用する/11月10日 利用する/11月10日 利用する/11月10日 24 文字 「・ナンバー 着信転送 半角数字、(、)、、* 32 文字* 10 「・ナンバー 常信転送 半角数字 10 「・ナンバー 常信電気 半角数字 10 「・ナンバー 常信電気 半角数字 10 「・ナンバー 常信電気 半角数字 10 「・ナンバー 「金番号で着信する/1・ナンバー 全番号で考信する/10 10 「・ナンバー 「金番号で着信する/1・ナンバー 11 デンバー 「「「「報」「アシバー」 「金番号で着信する/10 11 11 「ジーバル差信 第信信 「「」」」」」」 11 11 11 11 「ジーバル差信 第信 「」」」」」」」 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11<			メールアカウント	名	64 文字、半角文字	
APOP 認証 無効(有効 無効 TA モー TA モー TA モー TA モー USB ボー 第話番号 半角数字、()、、* 第目 第目 着信転送 利用する/利用しない 利用する/利用しない 利用しない 利用しない 利用しない 「・ナンバー 情報] *名番号で着信する/・ナンバー 情報] *2番号で着信する/・ナンバー 情報] *2番号で着信する/ *1・ナンバー 情報] *2番号で着信する/ グローバル着信 不信しない/着信する 着信する 第信する 第信する グローバル着信 希信する 着信する 第信する *1・ナンバー 情報] *2%者信する グローバル着信 希信する 第信する 第信する *1・ナンバー 情報] *2%者信する グフアドレスなし着信 着信しない/ 電信する *1・ナンバー (第33 マクス *2,9)者目読者 *3になう *1、たない 税信者帯し通知 *道記 *32,97,27, *2,90,27,27,4 *1,90,27,27,4 *1,90,27,27,4 *1,00,27,27,4 HLC (高位レイヤ整合性) *他記 *32,044,17,90,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4 *2,9,27,27,4			POP3 サーバへの)パスワード	32 文字、半角文字	
TA モー ド USB ボー ド 電話番号 半角数字、(、)、、* 32 文字 * 19 女子 利用する/利用しない 利用しない 着信転送 利用する/利用しない 利用する/利用しない 利用する/利用しない 利用しない 道号 *2 文字 * 1 · ナンバー 情報 1 で発音する/ · 1 · ナンバー 情報 1 で発音する 全番号で着信する/ · 1 · ナンバー 情報 1 で発音する 全番号で着信する/ · 1 · ナンバー 情報 1 で発音する 全番号で着信する/ · 1 · ナンバー 情報 1 · アンバー 常宿 · 1 · ナンバー 常和 1 · ・ · 2 · レント · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			APOP 認証		無効 / 有効	無効
第信転送 利用する1利用しない 利用しない 常信転送先電話 半角数字()、)、、* 32文字 22 I・ナンバー ・全番号で著信するパ・ナンバー 情報1で発着信するパ・プレバー 情報1で発着信する 全番号で著信するパ・ナンバー 情報1で発着信する 2 グローバル着信 第信しないメ信言する 第信する 第信する グローバル着信 着信しないメ信言する 第信する 第信する グローズル名信 着信しないメ信言する 第信する 第信する グローズル名 第信する 第信する 第信する 第 第目よる 第信する 第信する ドレスト ・ ・ 第目よる 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 日 ・ ・ ※ ※ ※ 1 1 ・	TA モー ド	USB ポー ト	電話番号		半角数字、(、)、-、 * 32 文字* 19 文字	
BOD/ BACP 第名目のの ※有容 ※全番号で着信するパ・ナンバー 情報1で発信する 全番号で着信するパ・ナンバー 情報1で発信する グローバル増留1で発信する *1・ナンバー情報1で発信する *1・ナンバー情報1で発信する *1・ナンバー情報1で発信する グローバル増留 で発音でする *1・ナンバー情報1で発信する *1・ナンバー情報1で発信する グローバル増留 で発音でする *1・ナンバー情報1で発信する *1・ナンバー情報1で発信する グローバル増留 *1・ナンバー情報1で発信する *1・ナンバー情報1で発音でする *1・ナンバー サブアドレスなし着信 著信しない7着信する 著信する *1・ナンバー サブアドレスなし着信 *1・ナンバー情報1で発音する *1・ナンバー *1・ナンバー *** *1・ナンバー情報1で発音する *1・ナンバー *1・ナンバー サブアドレスなし着信 *1・ナンバー情報1で発音する *1・ナンバー *1・オンバー情報1で発音する *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** **** *** *** **** **** **** *** *** **** **** ***** *** *** **** ***** ********** *** <td< td=""><td></td><td></td><td>着信転送</td><td></td><td>利用する / 利用しない</td><td>利用しない</td></td<>			着信転送		利用する / 利用しない	利用しない
BOD/ BACP (i・ナンバー (市) ・ナンバー情報1で発信する/i・ナンバー (市) ・ナンバー情報1で発信する) (i・ナンバー情報2で発着信する) (i・ナンバー情報3で発着信する) (i・ナンバー情報3で発着信する) (i・ナンバー情報3で発着信する) 第信する 全番号で着信する/ i・ナンバー情報1で発信する) 着信する 全番号で着信する/ i・ナンバー情報1で発音信する) (i・ナンバー情報3で発着信する) 着信する グローバル着信 着信する 着信する 着信する サブブドレスなし着信 着信しない/着信する 着信する サブブドレスなし着信 着信する 着信する 予信者番号通知 • 通知しない • 電話番号を通知する • 見知する INS ネット64 申込内 客に従う HLC (高位レイヤ整合性) • HLC なし • 電話番号で、 (G2G3 ファクス • ミックスス • ミックスス • ビディテックス • ミックス • デレクシステム • の (G3 ファクス • ミックスス • ビディテックス • ミックスス • ジックス • ジックス • ジックス INS ネット64 申込内 客に従う PIAFS 32k/64kVer2.0/64kVer2.1 32k DI断までの待ち時間 0 ~ 255 0 簡易専用線接続 • 使用しない • 差信側で使用する 使用しない • 差信側で使用する BOD/ BACP 《128K マルチリンク PPP》 初期接続手ャネル数 2 チャネル /1 チャネル 2 チャネル リソース BOD • 発信/者信とも割当てる • 第信時のみ割当てる • 送気行 - タッのA評価し追加する • 送気行 - タッのA評価し追加する • 送価目 1 ~ 255 秒 追加をおこなわない • 送信 - 260 AP/46 グレきい値 0 ~ 100% ■ 最小保持時間 10 10				着信転送先電話 番号	半角数字、(、)、-、 * 32 文字	
グローバル着信 着信しない/着信する 着信する サブアドレスなし着信 着信しない/着信する 着信する 着信する 発信者番号通知 ・通知しない ・通知しない ・認知なない ・服Sネット64申込内容に従う ・NSネット64申込内容に従う おいてない ・NSネット64申込内容に従う ・HLC なし ・電話 ・ロSネット64申込内容に従う ・HLC なし ・電話 ・ロSネット64申込内容に従う ・HLC なし ・電話 ・ロSスット70ス ・シックス ・シックスモード ・テレックス ・シッセージ処理システム ・OSI アブリケーション ・マリクス ・シッセージ処理システム ・OSI アブリケージョン ・マリクス ・シッセージ処理システム ・OSI アブリケーション ・マリクス ・シッセージののス ・デレジステム ・マリクス ・シックス ・シックス ・アリクス ・シックス ・シックス ・アリクス ・シックス ・シックス ・アリクス ・シックス ・ション ・アリンクス ・ション ・ション ・プリケージ ・ ● 「日本のション ・ ・ 第日のの ・ ・ ・ 第信のの教問当てる ・ ・ 第信データンシン			i・ナンバー		 ・全番号で着信する /i・ナンバー 情報1 で発信する ・i・ナンバー情報1 で発着信する ・i・ナンバー情報2 で発着信する ・j・ナンバー情報3 で発着信する 	全番号で着信する / i・ナンバー情報 1 で 発信する
BOD/ BACP (12) (スループット BOD) (12) ((2) ((2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)			グローバル着信		着信しない/着信する	着信する
発信者番号通知 ・通知しない 電話番号を通知する ・INS ネット 64 申込内容に従う INS ネット 64 申込内 客に従う HLC (高位レイヤ整合性) ・HLC なし 電話 ・G2/03 ファクス ・デレテクス ・デレテクス ・デレテクス ・デレックス ・ジッセージ処理システム ・OSI アブリケーション HLC なし PIAFS 32k/64kVer2.064kVer2.1 32k 切断までの待ち時間 0 ~ 255 0 簡易専用線接続 ・使用しない ・発信側で使用する ・発信側で使用する ・者信側で使用する ・者信時のみ割当てる ・書信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない 使用しない ・発信/着信とも割当てる ・発信がのみ割当てる ・音信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない W1Vース BOD》 ・ ※送信データのみ評価し追加す る。 ・ ご愛信データのみ評価し追加する ・ 追加をおこなわない 発信/着信とも割当 てる ・ 追加をおこなわない グーブット BOD 一類力 無効 ・ 30 第10			サブアドレスなし	~着信	着信しない / 着信する	着信する
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$			発信者番号通知		 ・通知しない ・電話番号を通知する ・契約者回線番号を通知する ・INS ネット 64 申込内容に従う 	INS ネット 64 申込内 容に従う
PIAFS 32k/64kVer2.0/64kVer2.1 32k 切断までの待ち時間 0~255 0 簡易専用線接続 ・使用しない ・発信側で使用する 使用しない BOD/ BACP 《128K マルチリンク PPP》 使用しない 初期接続チャネル数 2 チャネル/1 チャネル 2 チャネル リソース BOD》 ・発信/着信とも割当てる ・着信時のみ割当てる ・着信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない 発信/着信とも割当 てる ベロンマス BOD》 ・発信ドのみ割当てる ・割当てをおこなわない 発信/着信とも割当 てる ズループット BOD》 無効/有効 無効 スループット BOD》 一 一 ズループット BOD 一 一 デャネル追加 評価方向 ・送受信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない 追加をおこなわない しきい値 0~100% 60 10 最小保持時間 5~1275 秒 30					・電話 ・G2/G3 ファクス ・G4 ファクス ・ミックスモード ・テレテックス ・ビデオテックス ・テレックス ・テレックス ・メッセージ処理システム ・OSI アプリケーション	HLCなし
切断までの待ち時間 0~255 0 簡易専用線接続 ・使用しない ・発信側で使用する 使用しない BOD/ BACP 《128K マルチリンク PPP》 初期接続チャネル数 2 チャネル/1 チャネル 2 チャネル リソース BOD》 ・発信 / 着信とも割当てる ・著信時のみ割当てる ・著信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない 発信 / 着信とも割当 てる 《スループット BOD》 ・発信 / 有効 発信 / 着信とも割当 てる スループット BOD》 一 ・送受信データとも評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない レきい値 0~100% 60 評価時間 1~255 秒 10 最小保持時間 5~1275 秒 30			PIAFS		32k/64kVer2.0/64kVer2.1	32k
簡易専用線接続 ・使用しない ・発信側で使用する。 使用しない BOD/ BACP 《128K マルチリンク PPP》 初期接続チャネル数 2 チャネル/1 チャネル 2 チャネル 《リソース BOD》 ・発信 / 着信とも割当てる ・着信時のみ割当てる ・着信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない 発信 / 着信とも割当 てる 《スループット BOD》 無効 / 有効 スループット BOD》 一 ※受信データとも評価し追加する ・送受信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない 追加をおこなわない しきい値 0 ~ 100% 60 正師時間 1 ~ 255 秒 10 最小保持時間 5 ~ 1275 秒 30			切断までの待ち時	5問	$0\sim 255$	0
BOD/ BACP 《128K マルチリンク PPP》 初期接続チャネル数 2 チャネル/1 チャネル 2 チャネル 《リソース BOD》 ・発信 / 着信とも割当てる ・着信時のみ割当てる ・着信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない 発信 / 着信とも割当 てる 《スループット BOD》 無効 / 有効 無効 スループット BOD》 無効 / 有効 無効 チャネル追加 評価方向 ・送受信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない 追加をおこなわない しきい値 0 ~ 100% 60 評価時間 1 ~ 255 秒 10 最小保持時間 5 ~ 1275 秒 30			簡易専用線接続		・使用しない ・発信側で使用する ・着信側で使用する	使用しない
DACF 初期接続チャネル数 2 チャネル/1 チャネル 2 チャネル 《リソース BOD》 ·発信 / 着信とも割当てる ·着信時のみ割当てる ·剤当てをおこなわない 発信 / 着信とも割当 てる 《スループット BOD》 無効 / 有効 発信 スループット BOD 無効 / 有効 無効 チャネル追加 評価方向 ·送受信データとも評価し追加する ·受信データのみ評価し追加する ·送信データのみ評価し追加する 追加をおこなわない しきい値 0 ~ 100% 60 評価時間 1 ~ 255 秒 10 最小保持時間 5 ~ 1275 秒 30		BOD/	《128K マルチリン	ィク PPP》		
(リソース BOD)・発信 / 着信とも割当てる ・着信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない発信 / 着信とも割当 てる(スループット BOD) スループット BOD)無効 / 有効発信 / 着信とも割当 てるスループット BOD無効 / 有効無効チャネル追加評価方向・送受信データとも評価し追加する ・受信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない追加をおこなわないしきい値0 ~ 100%60 評価時間 目 ~ 255 秒10 30		DACE	初期接続チャネル	~数	2チャネル /1 チャネル	2 チャネル
スループット BOD》無効 / 有効無効スループット BOD無効 / 有効無効チャネル追加評価方向・送受信データとも評価し追加する ・受信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない追加をおこなわないしきい値0 ~ 100%60評価時間1 ~ 255 秒10最小保持時間5 ~ 1275 秒30			《リソース BOD》 リソース BOD		・発信 / 着信とも割当てる ・着信時のみ割当てる ・発信時のみ割当てる ・割当てをおこなわない	発信 / 着信とも割当 てる
スルーフット BOD無効/有効無効チャネル追加評価方向・送受信データとも評価し追加す る ・受信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない追加をおこなわないしきい値0~100%60評価時間1~255秒10最小保持時間5~1275秒30			<u>《スループット B(</u>	OD»		
デャネル追加 評価万向 ・送受信データのみ評価し追加する ・受信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない 追加をおこなわない しきい値 0 ~ 100% 60 評価時間 1 ~ 255 秒 10 最小保持時間 5 ~ 1275 秒 30			スループット BO			無効
しきい値0~100%60評価時間1~255秒10最小保持時間5~1275秒30			ナャネル追加	評価万 回	 ・送受信テータとも評価し追加する ・受信データのみ評価し追加する ・送信データのみ評価し追加する ・追加をおこなわない 	追加をおこなわない
評価時間1 ~ 255 秒10最小保持時間5 ~ 1275 秒30				しきい値	0~100%	60
最小保持時間 5~1275秒 30				評価時間	1~255秒	10
				最小保持時間	5~1275秒	30

	設定項	[目	説明	設定内容	初期値
TA モー ド	BOD/ BACP	チャネル削除	評価方向	・送受信データとも評価し削除す る ・受信データのみ評価し削除する ・送信データのみ評価し削除する	削除をおこなわない
			しきい値	0~100%	10
			評価時間	1~255秒	10
			最小保持時間	5~1275秒	30
		《BACP/BAP》			
		BACP/BAP		無効 / 有効	無効
アナログ	アナログ	<u>アナログポート運</u>	髪択	TEL1 ~ 2	TEL1
<u> Т</u>	パート別	電話畨号		半角数字、(、)、-、* 32 文字* 19 文字	
		着信転送		利用する / 利用しない	利用しない
			着信転送先電話 番号	半角数字、(、)、-、* 32 文字	
			転送トーキ	チェックの有無	チェック無
			転送元トーキ	チェックの有無	チェック無
		i・ナンバー		 ・全番号で着信する /i・ナンバー 情報1で発信する ・i・ナンバー情報1で発着信する ・i・ナンバー情報2で発着信する ・i・ナンバー情報3で発着信する 	TEL1 の場合: i・ナンバー情報 1 で 発着信する TEL2 の場合: i・ナンバー情報 2 で 発着信する
		奋亏(情報) 通知	ц 	・使用しない ・ナンバー・ディスプレイを使用 する ・メッセージ到着お知らせ機能を 使用する ・ナンバー・ディスプレイ+メッ セージ到着お知らせ機能を使用す る ・ ・ ・ ・	使用しない
			キャッチホン・ ディスプレイ	チェックの有無	チェック無
			ネーム・ディス プレイ	チェックの有無	チェック無
		接続機器 		・電話(音声) ・L モード対応機器またはファク ス(3.1kHz オーディオ)	電話(音声)
		グローバル着信		着信しない / 着信する	着信する
		サブアドレスなし	,看信	着信しない/着信する	看信する
		発信者畨号通知 		・通知しない ・電話番号を通知する ・契約者回線番号を通知する ・INS ネット 64 申込内容に従う	INS ネット 64 申込内 容に従う
		キャッチホン		・INS キャッチホン ・疑似キャッチホン ・使用しない	使用しない
		ダイヤル発信時間]	3~15秒	4
		内線呼出音		・リーン・リーン ・リーーン・リーーン ・リーンリン・リーンリン	リーンリン・リーン リン
		切断信号 (リバ-	-スパルス)	送出しない/送出する	送出しない
		HLC(高位レイ† 	7整合性)	・HLC なし ・電話 ・G2/G3 ファクス	HLC なし

	設定項目		説明	設定内容	初期値
アナログ	アナログ	遅延回数		$0 \sim 9$ 回	5
ポート	ボート共	呼出音周波数		$16 \sim 30$ Hz	20
	迅	なりわけ		INS なりわけ / 疑似なりわけ	INS なりわけ
			鳴動音	・リーン・リーン ・リーーン・リーーン ・リーンリン・リーンリン	リーンリン・リーン リン
		迷惑電話おことれ	59	・INS 迷惑電話おことわり ・疑似迷惑電話おことわり	迷惑電話おことわり
着信制御	着信制御	《標準》			
		データベースに 未登録の着信	TEL1/TEL2 着 信順位	優先 / 標準 / 遅延 / 拒否 	標準
			USB/RAS 着信 順位	標準 / 拒否	
			疑似なりわけ鳴 動音	・リーン・リーン ・リーーン・リーーン ・リーンリン・リーンリン	リーン・リーン
		非通知着信	TEL1/TEL2 着 信順位	優先 / 標準 / 遅延 / 拒否	標準
			USB/RAS 着信 順位	標準 / 拒否	
			疑似なりわけ鳴 動音	・リーン・リーン ・リーーン・リーーン ・リーンリン・リーンリン	リーン・リーン
		《データベース(1)》		
		電話番号別 00 ~ 09	電話番号	半角数字、(、)、-、 * 32 文字* 19 文字	
			TEL1/TEL2 着 信順位	優先 / 標準 / 遅延 / 拒否	標準
			USB/RAS 着信 順位	標準 / 拒否	
			疑似なりわけ鳴 動音	・リーン・リーン ・リーーン・リーーン ・リーンリン・リーンリン	リーン・リーン
		《データベース(2)》		
		電話番号別 10 ~ 19	電話番号	半角数字、(、)、-、* 32 文字* 19 文字	
			TEL1/TEL2 着 信順位	優先 / 標準 / 遅延 / 拒否	標準
			USB/RAS 着信 順位	標準 / 拒否	
			疑似なりわけ鳴 動音	・リーン・リーン ・リーーン・リーーン ・リーンリン・リーンリン	リーン・リーン
	i・ナン バー			使用しない / 使用する	使用しない
表示	日付・時 刻	パソコンから取 得	年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒	2001 ~ 2099/1 ~ 12/1 ~ 31/0 ~ 23/0 ~ 59/0 ~ 59	パソコンの日時
		手動設定 	年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒	2001 ~ 2099/1 ~ 12/1 ~ 31/0 ~ 23/0 ~ 59/0 ~ 59	2002/01/01 0:0:0
		タイムサーバか ら取得	タイムサーバア ドレス	64 文字、半角文字 / xxx.xxx.xxx	
			問い合わせ間隔	0~999/分・時間・日	30 分
	ログリスト		ログ情報を表示		
	DHCP クラ	マイアント情報	現在の DHCP ク ライアント情報 を表示		

	設定項	目	説明	設定内容	初期値
表示	接続・切断		接続状況、取得 情報を表示		
·	メール着信	情報	送信日時 / 送信 者 / 題名を表示		
	インタフェ	ース統計状態	統計情報を表示		
メンテナ ンス	バージョ ン情報	バージョン	ファームウェア のバージョン		
			ブラウザ設定画 面のバージョン		
			アクセスポイン トカードのバー ジョン		
		MAC アドレス	MAC アドレス (WAN)		
			MAC アドレス (LAN)		
			MAC アドレス (W-LAN)		
			MAC アドレス (USB-LAN)		
	初期化			・工場出荷時の設定に戻す ・接続情報を残す	・工場出荷時の状態 に戻す
	管理者パ	現在のパスワード		8 文字、半角文字	
	スワード	新しいパスワード	2	8 文字、半角文字	
		パスワードの確認	, ,	8 文字、半角文字	
	オンライン	リモート設定		無効 / 有効	無効
	サホート リモート	センタ側	電話番号	半角数字、(、)、-、* 32 文字* 19 文字	
		パスワード		32 文字、半角文字	
	オンライン	センタ設定		無効 / 有効	無効
	サホート センタ	パスワード	1	32 文字、半角文字	
		センタ側	IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX	172.23.123.123
		リモート側		XXX.XXX.XXX.XXX	1/2.23.123.124
		(接続・切断)	発信電話番号	半角数字、(、)、-、 * 32 文字* 19 文字	
		接続状況	接続待機状態 / 接続状態 / 接続不可		

9.5 テスト機能

ここでは、IPMATE1600RDの内部機能や回線チェックを行ないます。

本機能は TA モードでお使いの場合に、USB ポートに接続したパソコンからのみ使用可能です。

☆Point'

- テスト中は他の通信機器はご使用になれません。
- テスト終了後、本商品の電源を1度 OFF し、再度 ON にしてください。

≪ AT コマンドの入力方法≫

- キー入力はすべて半角英数字による入力を表わしています。
- しましたのでは、
 しています。
- 実際にパソコンからコマンドを入力する場合の入力例は、枠で囲って表記しています。太 字はユーザーからの入力箇所、それ以外は IPMATE1600RD から送信されて画面に表示さ れる部分を表わしています。

9.5.1 自己機能テスト

IPMATE1600RD 内部のデータ通信機能が正常に動作するかを自動的にチェックし、結果を表示します。

≪自己機能テストの操作方法≫

通信ソフトやパソコンのターミナルモードから、以下のように入力します。

AT&TO 🗲	
OK	

「OK」と表示されれば、データ通信機能は正常に動作しています。異常がある場合は、「ERROR」 と表示されます。

≪ AT コマンド使用時の注意事項≫

• 「AT」は、大文字と小文字の組み合わせ(At または aT)は使用できません。大文字または 小文字のみ(AT または at)を使用してください。また、「AT」は半角を使用してください。全角文字は使用できません。

<u>9.5.2 ラインテスト</u>

IPMATE1600RD と ISDN 回線の間で正常に通信が行なえるかをチェックし、結果を表示します。 このテストの終了までには、30 秒程度時間がかかる場合もあります。

≪ラインテストの操作方法≫

通信ソフトやパソコンのターミナルモードから、以下のように入力します。



「OK」と表示されれば、IPMATE1600RD と ISDN 回線の間で正常に通信が行なわれています。異常がある場合は「ERROR」と表示されます。

<u>9.5.3 メモリテスト</u>

IPMATE1600RD 内部のメモリのチェックを行ない、結果を表示します。

≪メモリテストの操作方法≫

通信ソフトやパソコンのターミナルモードから、以下のように入力します。



「OK」と表示されればメモリの状態は正常です。異常がある場合は「ERROR」と表示されます。

9.6 ISDN 回線申し込みに関する確認項目

IPMATE1600RD は INS ネット 64 などの ISDN 網を使用して通信を行ないます。ご契約されていない 場合は局番なしの 116 番または当社の営業所へお問い合わせください。

ご確認項目

INS ネット 64 の場合

確認項目	選択項目
インタフェース形態及びレイヤ 1 起動 種別	「P-MP 常時」または「P-MP 呼毎」
発信者番号通知サービス	「通常通知(通話ごと非通知)」 ※通常非通知(回線ごと非通知)を選択し た場合は、一部サービスが受けられない場 合があります。
ユーザー間情報通知	「着信許可」
通信中着信通知サービス	「許可」

専用線の場合

選択項目 「64k」または「128k」	
---------------------	--

9.7 退避・復元ユーティリティを使用する

IPMATE1600RD の設定情報を、LAN ポートに接続したパソコンに退避し、バックアップとして保存 しておくことが可能です。また、退避した設定情報を IPMATE1600RD に復元することが出来ます。

9.7.1 退避・復元ユーティリティのインストール手順

添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
 IPMATE1600RD のメニュー画面が表示されます。
 「退避・復元ユーティリティ インストール」をクリックします。



IPMATE1600RD 退避・復元ユーティリティ インストールが起動されます。



日 「次へ」をクリックします。



□ インストール先を確認し、「次へ」をクリックします。



☆Point'

• インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックしてインストール先を指定します。

日 退避・復元ユーティリティがインストールされ、アイコンが表示されます。



9.7.2 退避・復元ユーティリティの実行

≪準備≫

退避・復元ユーティリティをインストールしたパソコンを、IPMATE1600RD の LAN ポートまた は、USB ポートに接続します。

退避・復元を行なうパソコン以外の LAN ケーブルや USB ケーブル、その他の回線や電話機の ケーブル、アクセスポイントカードを外します。

⚠ 注意

- 退避・復元ユーティリティ実行中にインターネット接続や電話機能を使用すると、正常に 退避または復元できない場合があります。
- IPMATE1600RD のファームウエアバージョンと退避・復元ユーティリティのソフトウエ アバージョンが一致していないと退避・復元ユーティリティは動作しません。バージョン が異なると、以下のように表示されます。最新の退避・復元ユーティリティをご使用くだ さい。



「スタート」-「すべてのプログラム」-「IPMATE1600RD」-「IPMATE1600RD 退避・復元ユーティリティ」の順にクリックします。

MCN European	m IPMATE1600RD	- • 🔍 I	ー IPMATE1600RD退避・復元ユーティ
MON Explorer	mah Noah	•	
インターネット	🛅 アクセサリ	۱.	
Internet Explorer	💼 ゲーム	•	
電子メール Outlook Express	🛅 スタートアップ	•	
	🖄 Acrobat Reader 5.0		
)) Windows XP ツアー	🥭 Internet Explorer		
	🔏 Windows Messenger		
すべてのプログラム(P) ㅣ	🎝 リモート アシスタンス	ř(<u>R</u>)	

退避・復元ユーティリティの「接続ポート設定」画面が表示されます。接続するポートを選択し、 接続先を指定します。

以下の例では、LAN 側 IPMATE1600RD アドレス「192.168.1.1」の IPMATE1600RD に接続した パソコンから実行します。

IPMATE1600RD	退避・復元ユーティリティ
ポート選択	Version 1.10
C シリアル	
COMポート	
LAN	
IPアドレス	192.168.1.1

☆Point'/

- ・ LAN ポートにパソコンを接続した場合は、「LAN」を選択し、IPMATE1600RD の LAN 側 IP アドレスを入力します。
- USB ポートにパソコンを接続した場合は、IPMATE1600RD の動作モードに応じて以下の ように入力します。
 - ダイヤルアップルータモード、ブロードバンドルータモード:「LAN」を選択し IP アド レスを指定します。
 - TA モード:「シリアル」を選択し、USB(シリアル)アダプタの COM ポートを指定し ます。

図 接続先を指定し、「接続」をクリックすると、「しばらくおまちください!」と表示される場合があります。

しばらくお待ちください!

E IPMATE1600RD に接続すると、「退避・復元」画面が表示されます。

💐 IP MATE16	600RD 退避 復	「元ユーティリティ	
バージョン情報			
		ファームウェア:	Version 1.10
	情報退避	情報復元	
進行状況:			
			閉じる

9.7.3 設定情報を退避する

退避・復元ユーティリティから IPMATE1600RD に接続し、「情報退避」
 をクリックします。

🌂 IPMATE1600RD 退避・復元ユーティリティ	
バージョン情報	
ファームウェア	: Version 1.10
進行状況:	
	開じる

2 退避先、ファイル名を確認して、「保存」をクリックすると、退避処 理が開始されます。

名前を付けて保存		? 🛛
保存する場所①:		-
҈ My eBooks 褞マイ ピクチャ ぱマイ ミュージック ご受信したファイル		
ファイル名(N):	1600rd	保存(<u>S</u>)
ファイルの種類(工):	sav Files (*.sav)	 キャンセル

保存場所・ファイル名は必要に応じて変更できます。

日 退避処理が行なわれます。

💐 ІРМАТЕ	1600RD 退避·復	元ユーティリティ	
バージョン情報	1		
		ファームウェア:	Version 1.10
	情報退避	情報復元	
退避状況:			
	退避中		閉じる

通常1分程度で終了します。



- 退避処理中は IPMATE1600RD の電源を切ったり、パソコンをネットワークからはずした りしないでください。
- 집 退避処理が完了すると、「正常に退避しました」と表示されます。「閉じる」をクリックして、退避復元ユーティリティを終了します。

💐 ІРМАТЕ1	600RD 退避・復元ユーティリティ 📃 🗖 🔀	
バージョン情報		
	ファームウェア: Version 1.10	
	情報退避 情報復元	
退避状况:		
	正常に退避しました	

- 9.7.4 設定情報を復元する
 - 退避・復元ユーティリティから IPMATE1600RD に接続し、「情報復元」
 をクリックします。

🂐 ІРМАТЕІ (600RD 退避 復	元ユーティリティ	
バージョン情報			
		ファームウェア:	Version 1.10
_	情報退避	情報復元	
進行状況:			
			閉じる

 2 退避したファイル名を指定して、「開く」をクリックすると、復元処 理が開始されます。

ファイルを開く		? 🛛
ファイルの場所①:	אלאב+א אד 🕒	• 🖬 🎦 🚽 🖵
My eBooks 提マイ ピクチャ はマイ ミュージック ご受信したファイル ■ 1600rd.sav		
ファイル名(<u>N</u>):	1600rd.sav	開(()
ファイルの種類(工):	sav Files (*.sav)	 キャンセル

日 復元処理が行なわれます。

💐 ІРМАТЕІ (600RD 退避·復	元ユーティリティ	
バージョン情報			
		ファームウェア:	Version 1.10
	情報退避	情報復元	
復元状況:			
î.	复元中		閉じる

通常7分程度かかります。

復元完了時に IPMATE1600RD は再起動されます。本商品前面のランプがすべて橙点灯し、その後 POWER ランプが緑点灯したら完了です。

/<u>/</u>]注意_

- 復元処理中は IPMATE1600RD の電源を切ったり、パソコンをネットワークからはずした りしないでください。
- ② 復元処理が完了すると、「正常に復元しました」と表示されます。「閉じる」をクリックして、退避復元ユーティリティを終了します。

💐 ІРМАТЕІ	600RD 退避·復;	デューティリティ	
バージョン情報			
		ファームウェア:	Version 1.10
	情報退避	情報復元	
復元状況:			
:	正常に復元しました	<u>(</u>	閉じる

9.8 Mac OS のネットワーク設定

9.8.1 Mac OS 9.2 の場合

アップルメニューから「コントロールパネル」を開き、「TCP/IP」を ダブルクリックします。



ID TCP/IP(省略時設定)画面でお使いのネットワーク環境に応じて設定します。



- 経由先 : お使いのネットワークアダプタ(Ethernet、内蔵 Ethernet 等)
- 設定方法 : DHCP サーバを参照
- DHCP クライアント ID、検索ドメイン名: 空白

日 画面を閉じます。

「変更内容を現在の設定に保存しますか」と表示されたら、「保存」をクリックします。



ブラウザ (Internet Exproler)を表示し、メニューバーから、「編集」
 「初期設定 …」 – 「ネットワーク」 – 「プロキシ」をクリックします。

「使用するプロキシサーバー」のチェックボックスをすべてはずし、「OK」をクリック します。

	初期設定	E
 ● セキュリティ ● セキュリティ ゾーン ● 規制 ● 詳細設定 	ネットワークを使用してインターネットにアクセスする場合、内部サー バー(ゲートウェイ)を選択して接続を管理できます。詳しくはネット ワーク管理者に相談らてください。なお、これらの設定は、Internet Confir 経由で他のアプリケ ションでも使用されます。 使用するプロキシ サーバ	
 マ フォームの自動入力 ○ 定型句 ○ 個人情報 	 ↓ Web ブロキシ: ↓ Web ブロキシと同じサーバーをすべてに使用する ↓ FTP の場合、Web ブロキシを軽曲しない)
 ▽ 気信ファイル ● ダウンロードのオプション ● ファイル ヘルパー 	□ Secure ブロキシ: 説定 □ メール ブロキシ: 説定 □ メール ブロキシ:)
 Cookie マネットワーク ワプロトコル ヘルパー 	Gopher ブロキシ: ジロキシ を使用せずに直接接 続したいサイトを、以下のボックスに入力し てください。複数ある場合は、スペース、またはカンマで区切ります。]]
 ○ フロキシ ○ サイトパスワード マ 電子メール ○ 全般 		
0	キャンセル OK	

☆Point'

• 画面は、Mac OS J1-9.2.2 の例です。

9.8.2 Mac OS X の場合

アップルメニューから、「場所」 – 「ネットワーク環境設定…」をクリックします。



IP」タブ、「設定:DHCPサーバを参照」を表示します。

000	ネットワーク	0
すべてを表示	レー し L <thl< th=""> L <thl< th=""> <thl< th=""></thl<></thl<></thl<>	
	場所:〔自動	
表示: 内	藏 Ethernet 🔹	
-	TCP/IP PPPoE AppleTalk フロキシ	_
	設定: DHCP サーバを参照 ;	
	ドメインネームサーバ (オフション)	
	IP アドレス: (DHCP サーバから割り当てられます)	
۳ :	ブネットマスク:	
	ルータ 検索ドメイン (オフション)	
DHCP ク	マライアント ID: (オブション)	
Ethorn	et アドレフ:00.02.02.http:///////////////////////////////////	
Luieni	et / [/ / / / / / / / / / / / / / / / /	
変更で	できないようにするにはカギをクリックします。 今すぐ適用	

・「DHCP クライアント ID」、「検索ドメイン」を空白にします。

「プロキシ」タブをクリックし、プロキシサーバーのチェックをすべてはずして「今すぐ適用」をクリックします。

すべてを表示 ディスプレイ 動の その	レビン 2000 100 100 100 100 100 100 100 100 10
場所:〔自動	*
表示: 内蔵 Ethernet	•
TCP7tP PPPoE	AppleTalk フロキシ
■ FTP プロキシ	ポート:
安 🗆	助 FTP モード(PASV)を使用する
□ Web プロキシ(HTTP)	ポート:
🗌 Secure Web プロキシ	ポート:
□ ストリーミングプロキシ(RTSP)	ポート:
🗌 Gopher プロキシ	ポート:
SOCKS ファイアウォール	ポート:
次のホストとドメインに対しては プロキシ設定をパイパスする:	

回面を閉じます。保存の確認画面が表示されたら、「保存する」をクリックします。



☆Point'

• 画面は Mac OS X (10.2.1)の例です。

9.9 USB ドライバの削除

9.9.1 USB ドライバのアンインストール(Windows 2000、 Windows XP)

USB ドライバのアンインストールは付属の CD-ROM 内の USB ドライバ管理ツールより、アンイ ンストールを選択して行ないます。

 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。 IPMATE1600RD のメニュー画面が表示されます。 「USB ドライバ インストール / アンインストール」をクリックします。



IPMATE1600RD USB ドライバ管理ツールが表示されます。「アンイン ストール」を選択し、「次へ」をクリックします。



 USB ドライバアンインストールメニューが表示されます。削除するド ライバを選択し、「次へ」をクリックします。

USBドライバ アンイ	(ンストール	
OS : Windows	XP (5.1.2600 / 2)	
	ール SBモデム SB-LAN	
削除したい項目	にチェックして「次へ」ボタンを	
削除したい項目	にチェックして「次へ」ボタンを	りリックしてください。

アンインストール対象ドライバを確認し、「次へ」をクリックします。

IPMATE1600RD USBドライバ管理ツール 🔽
USBドライバ アンインストール 検出した以下のUSBドライバを削除します。
USBモデム: IPMATE1600RD
USB-Lan : IPMATE1600RD USB-Lan Adapter
※「次へ」ボタンをクリックすることで削り除されます。
〈戻る(8) (ズスへ(10)) キャンセル

 「USB ドライバのアンインストールを完了しました」のメッセージが 表示されます。「完了」をクリックすると、パソコンが再起動されア ンインストールが完了します。



以上で USB ドライバが削除されました。

9.9.2 USB ドライバの削除(Windows Vista)

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

- ※ ドライバを削除するには、IPMATE1600RD とコンピュータが USB ケーブルで接続されている必要があります。接続されていることを確認の上、以下の作業を進めてください。
- 12 [ネットワークアダプタ] アイコンをダブルクリックします。
- IPMATE1600RD USB-Lan Adapter」を選択し、右クリックします。
- ☑ [削除]をクリックします。



「デバイスのアンインストールの確認」が表示されたら、「このデバイスのドライバソフトウェアを削除する」をクリックしてチェックを入れ、[OK]をクリックします。



- 日 コンピュータの USB ポートから本商品を取り外します。
- **①** デバイスマネージャを閉じます。

IPmate1600RD 専用壁掛けテンプレート

-----キリトリ線--





この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。 当社ホームページ: http://web116.jp/ced/

http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■ NTT東日本エリアでご利用のお客様(北海道、東北、関東、甲信越地区)

E 0120-970413

携帯電話・PHS・0501P電話用(通話料金がかかります) (03-5667-7100)

■ NTT西日本エリアでご利用のお客様(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区) トークニィーナ 0120-109217

携帯電話・PHS・0501P電話用(通話料金がかかります) 東海・北陸・近畿・中国・四国(06-6341-5411) 九州地区 (092-720-4862)

受付時間/9:00~21:00

(年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます)

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2008 NTTEAST • NTTWEST

本2294-3(2008.3) IPMATE1600RDトリセツ

